

平成26年度

中学校ブロックジョイントプラン

—小中一貫教育推進計画—

【小中一貫教育校(施設分離型)】

- 宇治中学校ブロック (菟道小・菟道第二小)
- 北宇治中学校ブロック (小倉小・北小倉小)
- 槇島中学校ブロック (槇島小・北槇島小)
- 西小倉中学校ブロック (南小倉小・西小倉小)
- 西宇治中学校ブロック (神明小・伊勢田小)
- 南宇治中学校ブロック (西大久保小・平盛小)
- 広野中学校ブロック (大久保小・大開小)
- 東宇治中学校ブロック (三室戸小・南部小・岡屋小)
- 木幡中学校ブロック (木幡小・御蔵山小・笠取小・笠取第二小)

【小中一貫校(施設一体型)】

- 黄檗中学校ブロック (宇治小)

宇治市教育委員会

目次

○宇治中学校ブロック（菟道小・菟道第二小）	… 1
○北宇治中学校ブロック（小倉小・北小倉小）	… 3
○槇島中学校ブロック（槇島小・北槇島小）	… 7
○西小倉中学校ブロック（南小倉小・西小倉小）	… 10
○西宇治中学校ブロック（神明小・伊勢田小）	… 13
○南宇治中学校ブロック（西大久保・平盛小）	… 19
○広野中学校ブロック（大久保小・大開小）	… 23
○東宇治中学校ブロック（三室戸小・南部小・岡屋小）	… 27
○木幡中学校ブロック（木幡小・御蔵山小・笠取小・笠取第二小）	… 30
○黄檗中学校ブロック（宇治小）	… 34

平成26年度 宇治中学校ブロック ジョイントプラン

— 小中一貫教育推進計画 —

宇治市立 宇 治 中学校 校長 大 越 房 数
宇治市立 菟 道 小学校 校長 今 西 義 右
宇治市立 菟 道第二 小学校 校長 大 井 井 悟

小中一貫教育コーディネーター

◎宇 治 中学校 氏名 平 岡 順 一
菟 道 小学校 氏名 山 田 健
菟道第二 小学校 氏名 鶴 飼 宏 明

1 ブロック小中一貫教育目標・めざす子ども像

- (1) 教育目標
ふるさと宇治を愛し、みらいを展望し、たくましく生き方を求め続ける児童生徒の育成
- (2) めざす児童生徒像
 - ア とともに学び、考える児童生徒
 - イ たくましく生きる児童生徒
 - ウ 笑顔を大切にす児童生徒

2 平成26年度中学校ブロック小中一貫教育取組の重点(各中学校ブロックにおける重点取組)

- (1) 小中教員による合同の授業研究を通して、小中一貫教育を意識した授業実践の向上を図る。
- (2) 中学校生活での重要な役割を担う部活動を小学生が体験し、中学校生活及び将来に向けて夢や希望が持てる取組を推進する。
- (3) 児童会及び生徒会を中心とした、特別活動における取組を推進する。
- (4) 専門部会の進捗状況を中学校ブロックの教職員全員に、より周知できるよう、各部の討議・検討内容をまとめた「合同研修会のまとめ」を職員会議の連絡事項に盛り込み、口頭で紹介する場を設ける。

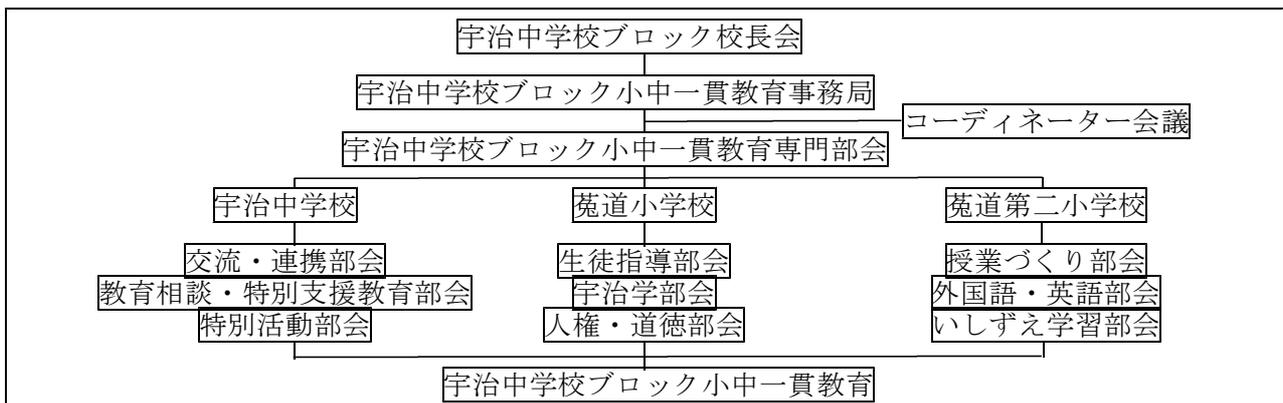
3 平成26年度小中一貫教育の到達目標達成に向けての具体的取組

- (1) 中学校ブロック小中一貫教育推進組織体制や計画・取組についての点検・評価の実施
全体会並びに9つの専門部会を組織する。年4回の合同研修会を行う。第4回合同研修会では各専門部会で総括を行い、それをもとに事務局会議で全体総括並びに評価を行う。結果をまとめ、各校の職員会議で提示する。
- (2) 中学校ブロック校長会の指導に基づいた推進組織体制の充実
各校の校長、教頭、小中一貫教育コーディネーターで事務局会議を組織し、合同研修会の前に会議を行う。それぞれの回における課題をあらかじめ検討し、提示できるようにする。
- (3) 中学校ブロックにおける教職員の研究・研修の充実
各専門部会で課題研究を行う。また本年度は、授業づくり部会、外国語・英語部会、宇治学部会、人権・道徳部会の4つの専門部会において、公開授業研究会を行う。
- (4) 9年間を見通した系統的・継続的学習指導並びに生徒指導についての研究・研修の充実
授業づくり部会、いしずえ学習部会において、小学校から中学校への円滑な接続を意図した学習への取組パターンや家庭学習への取組を積極的に行う。
- (5) 中学校ブロックにおける児童生徒の交流事業、体験活動の充実
これまでに行ってきた交流事業の内容を精査し、より効果的な方法を検討・実施していく。
- (6) 保護者や地域に向けた目に見える取組の実施による積極的な情報発信の充実
小中一貫教育校だよりやホームページを積極的に活用していくとともに、中学校教職員が小学校に出向き、「中学準備講座」を開催するなど、常に直接的な働きかけを意識する。
- (7) 小学校6年生に毎月、中学校の学校だよりを配布する。
- (8) 「各中学校ブロック独自の目標」
 - ア 小中教員による合同の授業研究を通して、小中一貫教育を意識した授業実践の向上を図る。
 - イ 中学校生活での重要な役割を担う部活動を小学生が体験し、中学校生活及び将来に向けて夢や希望が持てる取組を推進する。

4 平成26年度の実施計画

- (1) 重点目標に係る取組
- ア 推進組織体制の充実について
 - ・全体会と9つの専門部会で組織する。
 - ・全教職員の共通理解を図るため、各校の職員会議で「合同研修会のまとめ」を提示し、口頭で内容を確認する。
 - ・宇治中学校ブロックの教職員全員が小中一貫教育に関わる「小中合同研修会」を年4回開催し、課題解決に向けた取組を推進する。
 - ・毎月1回、二小一中校長会を開催する。
 - イ 授業研究会の充実について
 - ・授業づくり部会、外国語・英語部会、宇治学部会、人権・道徳部会で授業研究を行う。夏季研修会の専門部会で事前研、第3回研修会で公開授業並びに事後研を行う。
 - ウ 地域・保護者を巻き込んだ取組について
 - ・「ふるさと宇治21」をはじめとする諸行事に、地域の方、保護者の積極的な参加を促す。
 - エ 計画・取組についてのまとめ・評価について
 - ・第4回合同研修会で行う各専門部会の総括をもとに、事務局会議で全体総括並びに評価を行う。結果をまとめ、各校の職員会議で提示する。
- (2) 教職員が交流する取組
- ア 宇治中学校ブロック小中合同研修会 (5/14、8/21、10/29、1/28)。
 - イ 小中合同授業研究会 (授業づくり部会、外国語・英語部会、宇治学部会、人権・道徳部会)
 - ウ 小中教科連携教員による小学校外国語活動の指導
 - エ 教職員に向けた各校学校だよりの配布
- (3) 児童生徒が交流する取組
- ア 小学生の中学校半日体験入学 (11/12)
 - イ 中学生の小学校における職場体験 (6/10～12)
 - ウ 中学生による各小学校児童への駅伝指導
 - エ 中学生による菟道小学校児童へのマーチング指導
 - オ 中学校吹奏楽部の各小学校での演奏
 - カ 「ふるさと宇治21」での中学校部活動体験
 - キ 各小学校における中学校各部による出前部活動体験
 - ク 児童会・生徒会を中心とした小中連携活動
- (4) 保護者・地域が交流する取組
- ア 「ふるさと宇治21」行事 (年2回) への参加
 - イ 宇治橋通りわんさかフェスタにおける作品展での交流
 - ウ 宇治橋通りわんさかフェスタでの「子どものお店屋さん」の出店 (菟道小学校5年)
 - エ 宇治市福祉まつりパレードへの宇治中学校吹奏楽部の参加
- (5) 「いしずえ学習」「宇治学」の取組
- ア 専門部会 (宇治学部会) における交流・指導内容及び方法の検証と吟味
 - イ 専門部会 (いしずえ学習部会) における家庭学習の交流・指導内容及び方法の検証
- (6) 保護者・地域向け啓発計画
- ア 小中一貫教育校だよりの発行
 - イ 小中一貫教育啓発掲示板の活用 (各小中学校に設置し、各小中学校の学校だより等を掲示)
 - ウ 各校ホームページや学校だより等における小中一貫教育の紹介
 - エ 小学校6年生への「宇治中学校学校だより」の配布
 - オ 小学校における宇治中学校教員の「中学準備講座」の開催
- (7) その他 (地域の実態に即した中学校ブロック独自の取組内容等)
- ア 「ふるさと宇治21」では、教職員、児童生徒、保護者、地域の方々がそれぞれの立場から積極的に参加する。
 - イ 小中連携による「ブロックとしての家庭学習の在り方」を検討する。
 - ウ 小学校6年生に対する「春休みの宿題」の配布を検討する。

5 平成26年度小中一貫教育を推進する組織図



平成26年度北宇治中学校ブロック ジョイントプラン

－ 小中一貫教育推進計画 －

宇治市立北宇治中学校 校長 山下 一也
宇治市立北小倉小学校 校長 立野 誠之
宇治市立小倉小学校 校長 伊藤 剛

小中一貫教育コーディネーター

(北宇治)中学校 職名 教諭 ◎氏名 西川 光二
(北小倉)小学校 職名 教諭 氏名 藤田 祥尚
(小倉)小学校 職名 教諭 氏名 富田 有子
※チーフコーディネーターに◎印をつけてください

1 中学校ブロックにおける教育目標・めざす子ども像

- ・ 自ら考え、自発的に表現できる子（知）
- ・ 人と地域とのつながりの中で豊かな心を育て、他を大切にする子（徳）
- ・ 運動に親しむことにより、楽しく生活できる子（体）

2 平成26年度中学校ブロック小中一貫教育取組の重点（各中学校ブロックにおける重点取組）

- (1) **小中学校の教員が授業を通してつながる。→ 質の高い授業が質の高い学力を育む**
質の高い学力を目指す（日常の授業作りに生かすことができる）
小中9年間を見通した学びを意識し、児童・生徒が学習に没頭する（学習意欲）ことができるような質の高い授業を目指して、小・中学校教員が協働して指導方法や教材の研究を行い、それを活かした合同授業の指導案・授業デザインづくりを行い、実践する。
- (2) **小中一貫教育を推進する組織力を向上させる。**
- (3) **保護者や地域住民が学校教育に積極的に関われる体制をつくりあげる**

質の高い授業 = 北宇治中ブロック授業改善の4つ視点 + 学習意欲

3 平成26年度小中一貫教育の到達目標達成に向けての具体的取組

- (1) 中学校ブロック小中一貫教育推進体制や計画・取組についての点検・評価の実施
機能的な組織運営
 - ・ 教科外部会の各部で年間計画を作成し、計画的な活動を行い、2月に総括する。
 - ・ コーディネーター会議を定期的に行き、調整し、推進委員会後は、ニュースを発行する。
 - ・ 各部の提案を受け、推進委員会を中心に、教職員の具体的な動きをつくり、小中一貫教育を推進する。
- (2) 中学校ブロック校長会の指導に基づいた推進組織体制の充実
教科外部会における「顧問」の設置
 - ・ 教科部会では、各自が合同授業を行う教科のいずれかに所属する。
 - ・ 教科外部会についてもいずれかに所属する。（各校の管理職が顧問として各部に所属する。）
 - ・ 各部会で各校1名の代表者を決め、代表者会が各顧問の助言を受けながら、中心となって部会運営を行う。（各部の中学校代表が各顧問と連絡を取る）

各顧問

生徒指導部会	: 岩崎北宇治中学校教頭	教育相談部会	: 山下北宇治中学校長、
特別支援教育部会	: 藤井北小倉小学校教頭	児童生徒会交流部会	: 原田小倉小学校教頭
学力充実部会	: 伊藤小倉小学校長	宇治学部会	: 立野北小倉小学校長

(3) 中学校ブロックにおける教職員の研究・研修の充実

指導方法の交流と合同授業の実践

- ・合同授業に向け、指導案づくりを通して、小・中学校教員が協働し、指導方法や教材研究等の交流を行う。(小倉小学校で実施)

学力の実態把握と分析

- ・京都府(基礎)学力診断テスト、全国学力・学習状況調査等の結果を活用し、小・中学校の学力実態の分析し、交流する。
- ・各校の「いしずえ学習」の取組を交流し児童生徒の基礎基本の確実な習得・定着を図る。

カリキュラム作成における連携

- ・9年間を見通した年間指導計画を活用した系統的継続的学習指導の充実を図る。
(カリキュラムの交流及び検討)

(4) 9年間を見通した系統的・継続的な学習指導並びに生徒指導についての研究・研修の充実
学習指導

- ・9年間を見通した家庭学習習慣の定着による、児童生徒の質の高い学力を育成する。
- ・「中学校へのパスポート」の内容を検討し、実施する。
(小学校間や他のブロックで連携を図る)

生徒指導

- ・9年間を見通した生徒指導方針を検討し、組織的な生徒指導の推進、並びに発達段階に応じた適切な指導を進めるための系統的・継続的生徒指導についての研究・研修の充実を図る。
- ・中1ギャップをなくすための綿密な連携を行う。

(5) 中学校ブロックにおける児童生徒の交流事業、体験活動の充実

児童・生徒の交流

- ・学校行事や対外行事、地域ボランティア活動、児童会・生徒会活動を通して、児童・生徒の交流を通して、小小連携、小中連携をすすめる。
- ・小学6年生を対象にした半日入学の取組:「中学校授業体験や部活動体験」を実施する。

(6) 保護者や地域に向けた目に見える取組の実施による積極的な情報発信の充実

小中一貫教育連携ニュースの発行

- ・保護者向け小中一貫教育ニュースを学期1回程度発行し、活動内容を保護者・地域に紹介していく。
- ・他の広報紙発行等を行い、ブロック内の小中一貫教育の取組の情報発信を適切に行う。

合同講演会の取組

- ・ブロック内保護者、地域住民、教師が一堂に会し、児童・生徒の健全育成のために、何をすべきかを考える場としての合同講演会を設定し、小中一貫教育の取組を地域に根ざしたものにしていく。

家庭学習の取組

- ・家庭学習や生徒指導の問題を切り口に、地域や保護者との交流の場を積極的に持ち、連携を強める。

(7) 「各中学校ブロック独自の目標」

平成26年度 北宇治中学校ブロック小中一貫教育のテーマ

「質の高い学力を目指して、授業改善をすすめる」

4 平成26年度の実施計画

(1) 重点目標に係る取組

ア 推進組織体制の充実について

4月30日(水) 第1回 小中一貫教育推進委員会 (北宇治中学校)
10:00~11:00 構成員の確認、前年度の振り返り、本年度組織図の確認
一貫教育スローガンの立案、計画案の立案

5月中旬 教科部会、教科外部会のメンバーの確認

イ 授業研究会の充実について

6月16日(月) 小中一貫教育推進第1回総会 (北宇治中学校)
14:30~16:40 授業参観)教科部会(指導単元の確認)

6月下旬~ 第2回 小中一貫教育推進委員会

8月上旬 教科部会の討議の柱の確認
教科外部会の各校代表者、顧問の打ち合わせ、学校ごとの部会、
合同研の内容確認、授業者打ち合わせ日程の調整
合同研に、向けて3校の代表者の授業者打ち合わせ
(授業指導案 原案の作成)

8月上旬~中旬 合同研、各教科外部会打合せ(必要に応じて)

8月21日(木) 小中合同研修会第2回総会 (北宇治中学校)
9:00~9:20 全体会(開会、閉会)
9:30~11:00 教科部会 研究授業の指導案づくり

10月24日(金) 小中一貫合同授業研究会 (小倉小学校)

合同授業一覧

国語	(1-2)			
社会	(5-2)			
算数	(2-4)	(3-4)	(5-3)	(6-2)
理科	(4-2)			
外国語	(6-4)			
音楽	(3-2)			
図画工作	(4-3)			
道徳	(1-1)			
生活	(2-1)			
特別支援	特別支援教室(青空1・2組)			

ウ 地域・保護者を巻き込んだ取組について

6月21日(土) 小中一貫教育合同講演会 (北小倉小学校 体育館)
10:30~12:00 講演「子どもの見方、育て方」
— 思春期に向かう子ども達の心と成長 —
講師 京都教育大学大学院 教授 桶谷 守

エ 計画・取組についてのまとめ・評価について

2月16日(月) 小中合同研修会第2回総会 (北宇治中学校)
年間の活動のまとめ・評価を行う
(全体会、教科外部会)

(2) 教職員が交流する取組

授業参観の取組

- 5月21日(水) 北宇治中学校 → 榎島小学校
- 6月16日(月) 小倉小学校、北小倉小学校 → 北宇治中学校
- 10月16日(木) 北宇治中学校 → 小倉小学校
- 1月20日(火) 北宇治中学校 → 北小倉小学校

(3) 児童・生徒が交流する取組

- 12月6日(土) 小中合同クリーンキャンペーン
小中合同共同募金の取組
- 1月中旬 児童会生徒会交流会
- 2月初旬 書き損じハガキの取組

(4) 保護者・地域が交流する取組

- 12月6日(土) 小中合同クリーンキャンペーン

(5) 「いしずえ学習」「宇治学」の取組

- 8月21日(木) 教科外部会 宇治学部会
11:15~12:30 学力充実部会
- 2月16日(月) 教科外部会 宇治学部会
15:25~16:40 学力充実部会

(6) 保護者・地域向け啓発計画

- 2学期(未定) 家庭学習についての保護者・地域 学習会

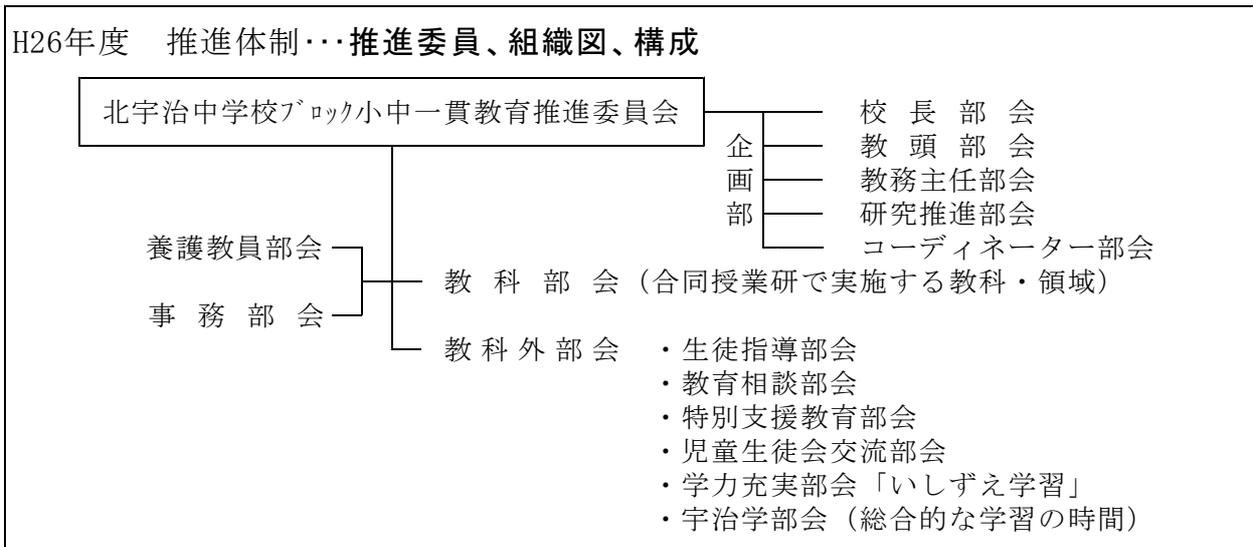
(7) その他(地域の実態に即した中学校ブロック独自の取組内容等)

4つの視点に立った授業改善

- ・ 基礎・基本の学力の定着を図る(いしずえ学習)
- ・ 実施校の重点研究を生かす(自ら学び、自ら考え、表現できる子を目指す授業)
- ・ 子ども達の主体的な授業参加を目指す(学びあう活動・学習意欲を継続させる授業)
- ・ 授業規律を維持する

北宇治中学校ブロックの授業改善に向けての4つの視点

5 平成26年度小中一貫教育を推進する組織図



平成26年度 榎島中学校ブロック ジョイントプラン

－ 小中一貫教育推進計画 －

宇治市立榎島中学校 校長 心山 芳典
宇治市立榎島小学校 校長 松居 博之
宇治市立北榎島小学校 校長 芦田 定雄

小中一貫教育コーディネーター

(榎島)中学校 職名 教諭 氏名 不破 真紀
(榎島)小学校 職名 教諭 氏名 芦田 吉生
◎(北榎島)小学校 職名 教諭 氏名 坂上 敬宣

1 ブロック小中一貫教育目標・めざす子ども像

小中一貫教育目標 「豊かな人間性と未来を創造する子どもの育成」
めざす子ども像 心身共に健康で、明るく活動する子
意欲的に学び、深く考え、豊かに表現する子
地域でつながり、共に支え合い、高め合う子

2 平成26年度中学校ブロック小中一貫教育取組の重点（各中学校ブロックにおける重点取組）

平成20年度から研究を進めてきた小中連携・小中一貫教育の成果や課題を踏まえて、教科・領域での様々な学習場面や生徒指導、特別支援教育等での系統的・統一的な指導の充実を図り、小中一貫教育目標を実現するための具体的な取組を推進する。また、中学校ブロックで家庭・地域・学校間で連携する取組を積極的に進める。

3 平成26年度小中一貫教育の到達目標達成に向けての具体的取組

- (1) 中学校ブロック小中一貫教育推進組織体制や計画・取組についての点検・評価の実施
小中連携・小中一貫教育の成果や課題を踏まえて作成した小中一貫教育の計画を、めざす子ども像に迫る取組へ充実・改善を図る視点を持ち、児童生徒や地域の実態に応じた実践・検証を進める。
- (2) 中学校ブロック校長会の指導に基づいた推進組織体制の充実
「夢・未来」会議を推進の要とした組織体制の中で、小中一貫教育の取組や各部の研究実践を推進する。教職員広報を発行し、小中一貫教育推進に関わる情報を発信し、小中学校の教職員の共通理解を図りながら、取組を推進する。
- (3) 中学校ブロックにおける教職員の研究・研修の充実
各教科・領域部会を設定し、年間指導計画(宇治スタンダード)をもとに、小中学校の指導の実際を交流しながら、系統的・継続的な学習指導実現に向けた研究を進める。合同研修では、学力の充実・向上と合同研究授業の充実を図る取組を年間を通して推進する。
- (4) 9年間を見通した系統的・継続的な学習指導並びに生徒指導についての研究・研修の充実
9年間を見通すことのできる教科の年間指導計画〔宇治スタンダード〕を活用し、児童生徒の発達の段階に応じた系統的・継続的な学習指導を推進する。
小中の接続をスムーズに行えるよう、綿密な連携や研究・研修を推進する。

(5) 中学校ブロックにおける児童生徒の交流事業、体験活動の充実

ア 小学生の中学校体験入学

中学進学への不安を解消し、中学校生活への見通しを持つために、中学校での授業体験と部活動体験を行う。

イ 中学生の職場体験

榎島中学校の2年生が、榎島小学校と北榎島小学校で、朝の児童の登校を迎えるあいさつや、学級での授業支援、休み時間や給食時間での児童との交流、環境整備など、様々な活動を体験する。

ウ 小・中学生の主張交流会

榎島中学校の「中学生の主張」学年代表と、北榎島小学校6年生の「将来の夢」学級代表が発表し、交流する。榎島小学校の6年生は、その様子を映像で鑑賞する。

エ 中学校文化祭演劇の鑑賞

榎島中学校文化祭の演劇発表を北榎島小学校5年生が鑑賞する。

(6) 保護者や地域に向けた目に見える取組の実施による積極的な情報発信の充実

小中一貫教育便り「マキシマム」の継続発行(保護者配布・地域回覧)やHPへの掲載、各校の情報誌での小中一貫教育目標やめざす子ども像、取組等の広報や校内掲示等を行い、小中一貫教育に向けた取組や研究を積極的に情報発信する。また、学校・地域行事で、児童生徒が共に活動したり、交流したりする場面や小中一貫教育の成果を発揮する場面を設定する。

(7) 「各中学校ブロック独自の目標」

- 義務教育9年間の系統的・継続的な指導で、子どもに確かな学力や生きる力を身に付ける。
- 義務教育9年間+αの連携で、家庭・地域と共に子どもを育てる。

4 平成26年度の実施計画

(1) 重点目標に係る取組

ア 推進組織体制の充実について

- 「夢未来」会議(各校校長・教頭・教務主任)
- コーディネーター会議
- 小中合同部会・教科部会

イ 授業研究会の充実について

- 小中合同研修会(6月20日・8月18日・11月21日)
- 小中合同部会・教科部会
- 小中合同公開授業研究会

ウ 地域・保護者を巻き込んだ取組について

- 北榎島小学校区青少年健全育成協議会「夏祭り」(8月2日)
- 北榎島小学校区餅つき&クリーン運動(1月17日)
- 榎島小学校区左義長(1月)
- 3校のPTA役員の交流や合同行事の設定

エ 計画・取組についてのまとめ・評価について

- 「夢未来」会議(各校校長・教頭・教務主任)
- コーディネーター会議
- 小中合同部会・教科部会

(2) 教職員が交流する取組

- 小学校授業公開(5月21日)
- 中学校授業公開(6月20日)
- 合同研究授業(11月21日)
- 合同研究部会(6月20日・8月18日・11月21日)
- 小中連絡会(6月10日・1月・3月)
- 榎島中学校ブロック教務主任会(8月・2月)
- 小中一貫教育連携教員(榎島中学校教員)による外国語活動の指導
- チーフコーディネーターによる2小学校の授業サポート
- 中学校ふり返り集中学習への小学校教員の支援(7月・8月)

(3) 児童生徒が交流する取組

- 小学生の中学校体験入学(11月12日)
- 中学生の職場体験(10月28日～30日)
- 陸上運動交歓記録会(10月10日)
- 小・中学生の主張交流会(3月)
- 児童会・生徒会のあいさつ運動

(4) 保護者・地域が交流する取組

- 北榎島小学校区青少年健全育成協議会「夏祭り」(8月2日)
- 北榎島小学校区餅つき&クリーン運動(1月17日)
- 榎島小学校区左義長(1月)
- 3校のPTA役員の交流や合同行事の設定

(5) 「いしずえ学習」「宇治学」の取組

- 「いしずえ学習」実施計画の実践による家庭学習を含めた学力定着サイクルの確立と家庭との連携の強化
- 「宇治学」実施計画の実践・検証による内容の充実

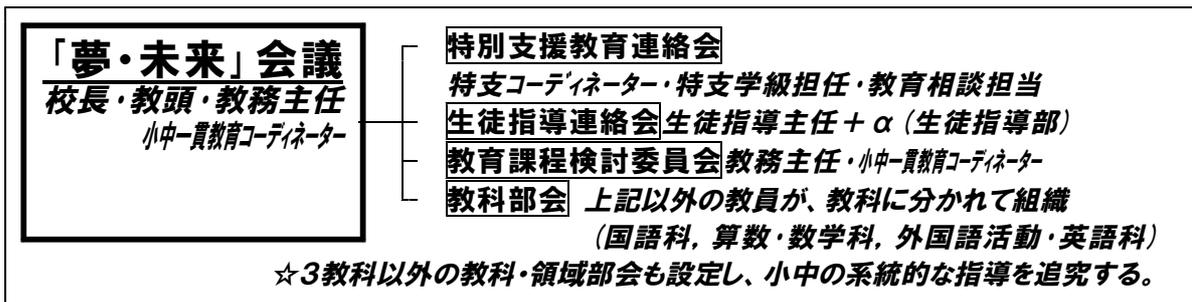
(6) 保護者・地域向け啓発計画

- 各校学校便りで小中一貫教育の取組を積極的に掲載
- 配布物に小中一貫教育目標やめざす子ども像を掲載
- 「榎島中学校ブロック小中一貫教育便り」の発行
- 学校だより・「榎島中学校ブロック小中一貫教育便り」の地域回覧
- 中学校の学校便りを小学校6年の児童、保護者に配布
- 家庭学習ナビゲーション(家庭学習の手引き)冊子の配布による家庭との連携強化

(7) その他(地域の実態に即した中学校ブロック独自の取組内容等)

- 榎島小学校の分散進学が残る状況を踏まえ、1小1中で進める取組と2小1中で進める取組を整理しながら進める。

5 平成26年度小中一貫教育を推進する組織図



平成26年度 西小倉中学校ブロック ジョイントプラン

－ 小中一貫教育推進計画 －

宇治市立西小倉中学校 校長 吉田 邦雄
宇治市立西小倉小学校 校長 飯田 康生
宇治市立南小倉小学校 校長 林 文康

小中一貫教育コーディネーター

西小倉中学校 教諭 山根 徳子
西小倉小学校 教諭 高橋 宏幸
南小倉小学校 教諭 ◎小野寺 美栄子

1 ブロック小中一貫教育目標・めざす子ども像

小中9年間を通して 地域と共に 子ども達の ゆたかな心と 確かな学力をはぐくむ
・ゆたかな表現力と自分の考えを持ち 互いの思いを伝え合う子
・地域とつながり 思いやりの心を大切に作る子
・健康に気をつけ 自らの目標に向かってがんばる子

2 平成26年度中学校ブロック小中一貫教育取組の重点(各中学校ブロックにおける重点取組)

- (1) 家庭学習の促進・実践
- (2) 小中合同授業研究会の開催と教職員の授業力アップ
- (3) 保護者・地域との連携
- (4) 体験・児童生徒交流
- (5) 生徒指導 ・児童生徒理解 ・教育相談の充実

3 平成26年度小中一貫教育の到達目標達成に向けての具体的取組

- (1) 中学校ブロック小中一貫教育推進組織体制や計画・取組についての点検・評価の実施
・月3,4回のコーディネーター会議で合同研修会の計画や各部の活動状況を交流把握し、推進会議で報告し計画・取組の評価をし、次の手立てをとれるようにする。
- (2) 中学校ブロック校長会の指導に基づいた推進組織体制の充実
・月1,2回の推進会議を持ち、校長並びに教頭は各部の担当に入り、責任者(コーディネーター)と連携し取組を進める。
- (3) 中学校ブロックにおける教職員の研究・研修の充実
・年間4回の研修会、1回の合同授業研究会(西小倉中学校に於いて)、2小学校に於けるフリー参観を行い、授業改善・授業システムの共有化に取り組み、家庭学習促進の実践につなげる。
- (4) 9年間を見通した系統的・継続的学習指導並びに生徒指導についての研究・研修の充実
・小中連携加配(体育)の中学校教員による小学校6年生の指導や小学校高学年における交換授業や入り込み授業を拡充し、教科担任制への円滑な移行を図る。学力充実・向上部(家庭学習促進実践事業・授業研究・改善)生徒指導部・児童生徒交流部の3部で本ブロックの児童生徒の実態を交流し課題の解決に向けた取組をすすめる。また、生徒指導部会においては、「授業のきまり」の見直し改善をする。

- (5) 中学校ブロックにおける児童生徒の交流事業、体験活動の充実
- ・児童会、生徒会の本部役員の交流をはじめ、児童会生徒会の合同会議を開催し、協働交流事業を企画、実施する。具体的な取組としては、体験入学・部活体験・職場体験や地域行事での交流、児童会生徒会合同の学習会・募金運動・あいさつ運動・エコキャップ収集である。また、本年度は新たな取組みとして中学生の小学生低学年への読み聞かせ体験に取り組む。
- (6) 保護者や地域に向けた目に見える取組の実施による積極的な情報発信の充実
- ・年2回の家庭学習促進実践事業に関わる教育講演会の開催
 - ・改訂版家庭学習の手引きの配布
 - ・家庭学習促進についての懇談会
 - ・家庭学習、自主学習についての参加体験型授業参観
 - ・家庭学習促進について保護者への意識アンケート
 - ・一貫教だよりや学校だよりにより取組を知らせる
 - ・小中一貫教育の3年間の取組について知らせる
- (7) 家庭学習促進実践事業の取組による子どもの確かな学力の育成
- ・「学びノート」の活用により児童の学習への意欲を高め、学力向上を図る。
 - ・授業改善に取り組み児童生徒の自主的学習につなげる。

4 平成26年度の実施計画

(1) 重点目標に係る取組

ア 推進組織体制の充実について

- ・3部会(学力・生指・児童生徒交流)を設定する。各部を各校の校長、教頭、コーディネーターが分担し、中心となって運営する。また、コーディネーター会議、推進会議のスムーズな流れを作る。

イ 授業研究会の充実について

- ・中学校での3校合同授業研究会を行う。学力充実・向上部(授業研究・改善)からの提案による授業リテラシーにより事前研・授業・事後研を行い、小中の教員が協働して授業を行う。

ウ 地域・保護者を巻き込んだ取組について

- ・家庭学習促進講演会の開催年2回 4月19日(土)京都教育大学 村上教授
11月8日(土)佛教大学 原教授
- ・家庭学習促進についての懇談会 6月10月2月
- ・保護者の家庭学習に関する意識アンケート 5月7月10月2月

エ 計画・取組についてのまとめ・評価について

- ・3校合同研修会2月を持って、取組のまとめ・評価をする。
- ・教育講演会の講師に出席いただき講評をいただく。

(2) 教職員が交流する取組

- ・中学校での合同授業研究会 11月13日(木)
- ・合同研修会での部会等での話し合い・交流 7月31日(木)8月22日(金)2月13日(金)
- ・2小学校のフリー参観

(3) 児童生徒が交流する取組

- ・具体的な取組として体験入学・部活体験・職場体験や地域行事での交流、児童会生徒会合同の学習会・募金運動・あいさつ運動・エコキャップ収集。さらに本年は中学生の小学生低学年への読み聞かせ体験に取り組む。

(4) 保護者・地域が交流する取組

- ・「ふるさと事業(世代間交流)夏祭り」に中学生が参加
- ・地域住民、保護者、小学生、中学生が協力して地域クリーン運動を実施・西小倉地域福祉まつりに中学生が参加
- ・敬老のつどいに中学生が参加
- ・各小学校の「子どもの居場所づくり事業」に中学生が参加

(5) 「いしずえ学習」「宇治学」の取組

- ・基礎基本の徹底や振り返り学習を行うにあたり、随時いしずえ学習を取り入れる。
- ・西小倉中ブロック宇治学の指導計画に基づく活動をさらに推進し、見直し改善をしていく。

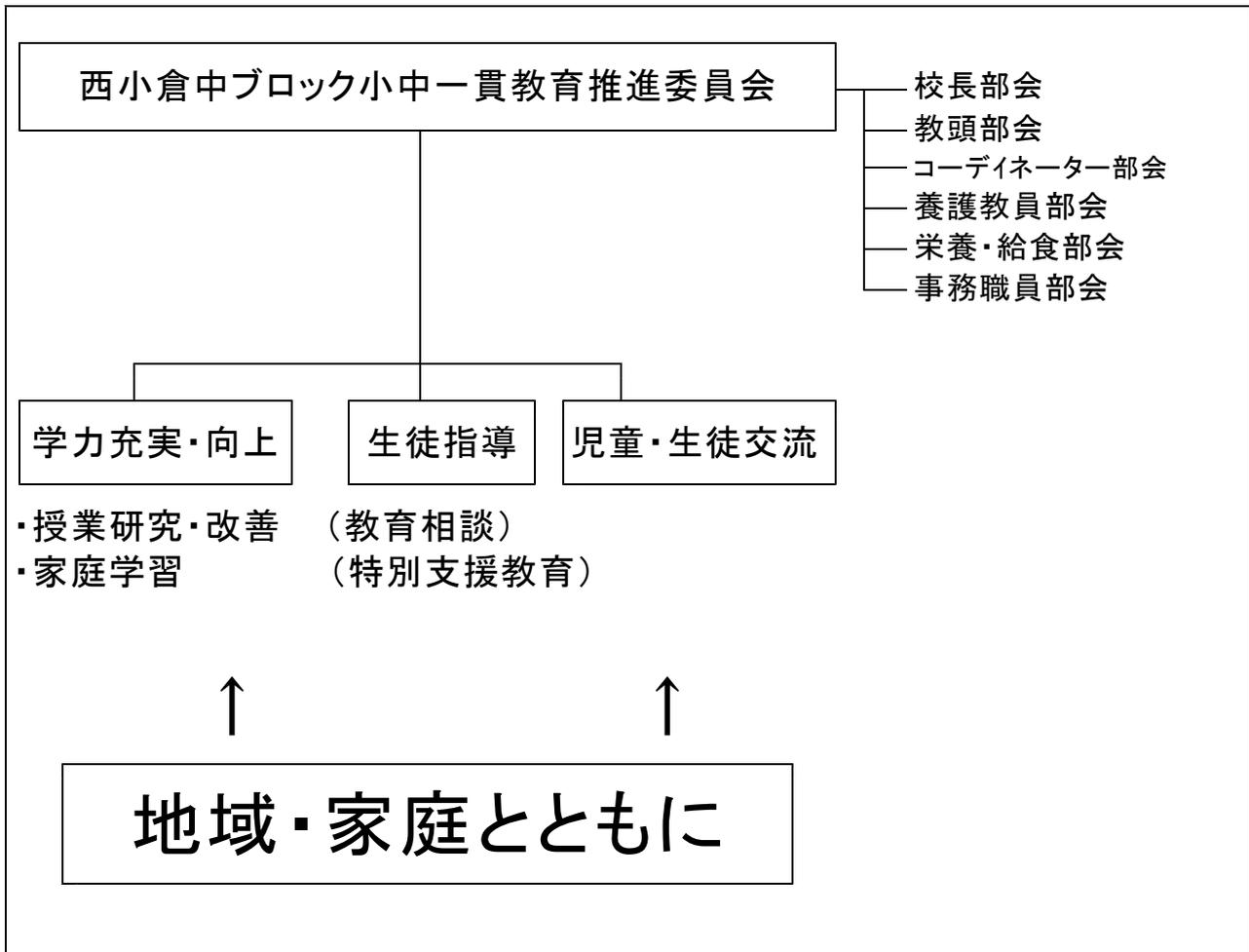
(6) 保護者・地域向け啓発計画

- ・各校の学校便りや校内の掲示板等に小中一貫教育コーナーを作り取組を掲載する。
- ・小中一貫教育推進ニュースの発行(小・中学校の保護者配布)

(7) 家庭学習促進実践事業

- ・「学びノート」の活用により家庭での自主学習を促進する。
- ・「家庭学習の手引き」を活用し講演会・懇談会で保護者への啓発を行う。

5 平成26年度小中一貫教育を推進する組織図



平成26年度 西宇治中学校ブロック ジョイントプラン

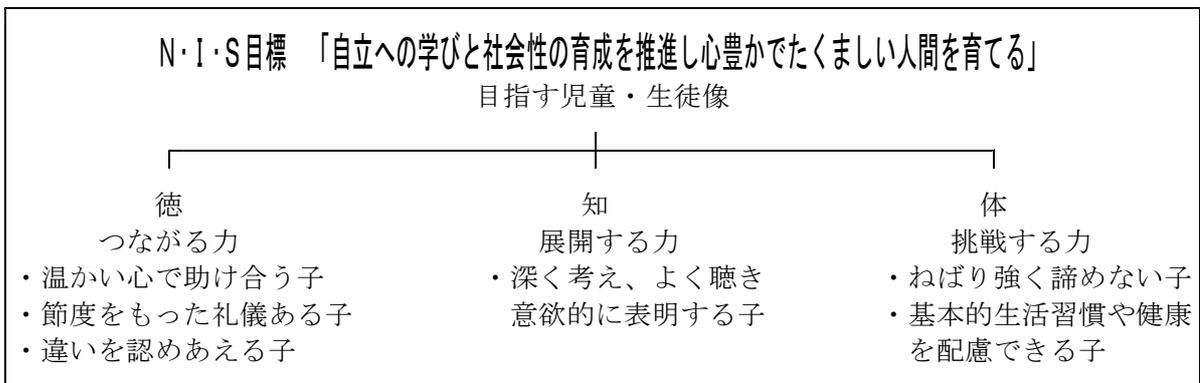
－ 小中一貫教育推進計画〈N・I・Sプラン〉 －

宇治市立西宇治中学校	校長	井戸	充
宇治市立神明小学校	校長	川上	博
宇治市立伊勢田小学校	校長	東堂	光明

小中一貫教育コーディネーター

◎西宇治中学校	教諭	有山	明利
神明小学校	教諭	小槌	晶乃
伊勢田小学校	教諭	立原	隆弥

1 ブロック小中一貫教育目標・めざす子ども像



2 平成26年度中学校ブロック小中一貫教育取組の重点（各中学校ブロックにおける重点取組）

進路指導を見据え学力向上の取組を基本に置く

- (1) 合同研修会各教科部会の充実と発展・公開授業研究会の実施
- (2) 3部会機能の活性化
- (3) 小小連携の充実（中学進学に向け、共通取組による実態改善）
- (4) 相互連携授業の充実

3 平成26年度小中一貫教育の到達目標達成に向けての具体的取組

(1) 中学校ブロックにおける小中一貫教育推進組織体制や、計画・取組についての点検・評価の実施

- ・ 校長部会を必要に応じ開催し、進行管理をする。
- ・ 教頭部会を必要に応じ開催する。
- ・ コーディネーター会議(月2回)、推進会議(月1回)を定期的で開催し、本ブロックの取組内容及び成果を検証しつつ推進する。
- ・ 3部会(学力充実部会・児童生徒理解部会・児童生徒交流部会)を定例で開催し、課題の共有化を図る。

(2) 中学校ブロック校長会の指導に基づいた推進組織体制の充実

- ・ コーディネーターを核とした推進会議による事業計画の具体化を行う。

- ・推進会議を受けて、3部会における取組を充実させる。
- ・チーフコーディネーターを随時小学校へ派遣することにより、児童の実態や状況を正確に把握し、小中の連絡調整や取組の改善・充実に努める。

(3) 中学校ブロックにおける教職員の研究・研修の充実

- ・教科連携教員による外国語授業を継続進行する。
- ・小中合同研修会を設定（6月 8月 10月）する。
- ・輪番制による授業参観を行う。
- ・学力充実部及び児童生徒理解部における取組の具体化を行う。
- ・相互連携授業においては、小学校教員における中学校での授業も検討する。

(4) 9年間を見通した系統的・継続的な学習指導並びに生徒指導についての研究・研修の充実

- ・合同研修会において各部会を充実させ、昨年度の年間指導計画を改善する。

(5) 中学校ブロックにおける児童生徒の交流事業、体験活動の充実

- ・コーディネーター会議において、本ブロックにおける「いしずえ学習」、「宇治学」の指導計画を検証し、改善を図る。
- ・児童生徒交流部を中心に小中交流の活性化を図る。

(6) 保護者や地域に向けた目に見える取組の実施による積極的な情報発信の充実

- ・学期1回広報誌を発行する（コーディネーターが作成）。
- ・小中一貫教育掲示板を3校ともに見えやすい位置に設置し、内容の充実を図る。
- ・各校学校便りやHPで取組状況を広報する。
- ・中学校での授業参観実施時に小学校の保護者に参加案内を行う。

(7) 「各中学校ブロック独自の目標」

- ・チーフコーディネーターにその業務に専念できる条件（学年所属なし）を与える。
- ・チーフコーディネーターを随時小学校へ派遣し、児童の実態把握、小中の連絡調整、相互連携授業を強化する。
- ・合同研修会や各部会の一層の充実を図り、公開授業研究会を計画的に実施する。
- ・3部会機能を活性化する。
- ・小小連携を充実（中学進学に向け、共通取組による実態改善）する。
- ・相互連携授業を充実させる。

4 平成26年度の実施計画

(1) 重点目標に係る取組

ア 推進組織体制の充実について

- ・校長部会を必要に応じ開催し、進行管理をする。
- ・教頭部会を必要に応じ開催する。
- ・コーディネーター会議(月2回)、推進会議(月1回)を定期的に開催し、本ブロックの取組内容及び成果を検証しつつ推進する。
- ・3部会(学力充実部会・児童生徒理解部会・児童生徒交流部会)を定例で開催し、課題の共有化を図る。

イ 授業研究会の充実について

- ・西宇治中学校ブロック合同研修会（8月22日）における、小中合同公開授業に向けての指導案等の検討

- ・西宇治中学校における小中合同公開授業研究会（10月29日）の実施

ウ 地域・保護者を巻き込んだ取組について

- ・各地域行事への参加（夏祭り・左義長等）
- ・地域懇談会における西宇治中ブロックとしての小中一貫教育実践報告
- ・夏休みの地域パトロール
- ・中学校授業参加時の小学校保護者の参加

エ 計画・取組についてのまとめ・評価について

- ・各取組や行事ごとに反省やまとめをおこなう
- ・2月に推進会議・コーディネーター会議を開き、本年度のまとめ・評価を行う
- ・3月のコーディネーター会議において、来年度の引き継ぎ事項について検討する

(2)教職員が交流する取組

- ・西宇治中学校ブロック合同研修会（6月20日 8月22日 10月29日）
- ・小中合同公開授業（10月）
- ・3部会（児童生徒理解部会 学力充実部会 児童生徒交流部会）の開催
- ・相互連携授業（随時）

(3)児童生徒が交流する取組

- ・小学校を職場とした中学生の職場体験での交流（5月26～28日）
- ・中学生による小学生への部活動指導（各学期）
- ・中学校合唱コンクールリハーサル参加（2学期・10月）
- ・小学生の中学校体験入学（11月12日）
- ・小中学校共同での「朝の挨拶運動」

(4)保護者・地域が交流する取組

- ・各地域行事への参加（夏祭り・左義長等）
- ・地域懇談会における西宇治中ブロックとしての小中一貫教育実践報告

(5)「いしずえ学習」「宇治学」の取組

- ・西宇治中ブロックとしての「家庭学習のてびき」活用
- ・中1ふり返りスタディーへの小学校からの支援
- ・中学校ブロックで作成した「宇治学」実施計画の実施・検証

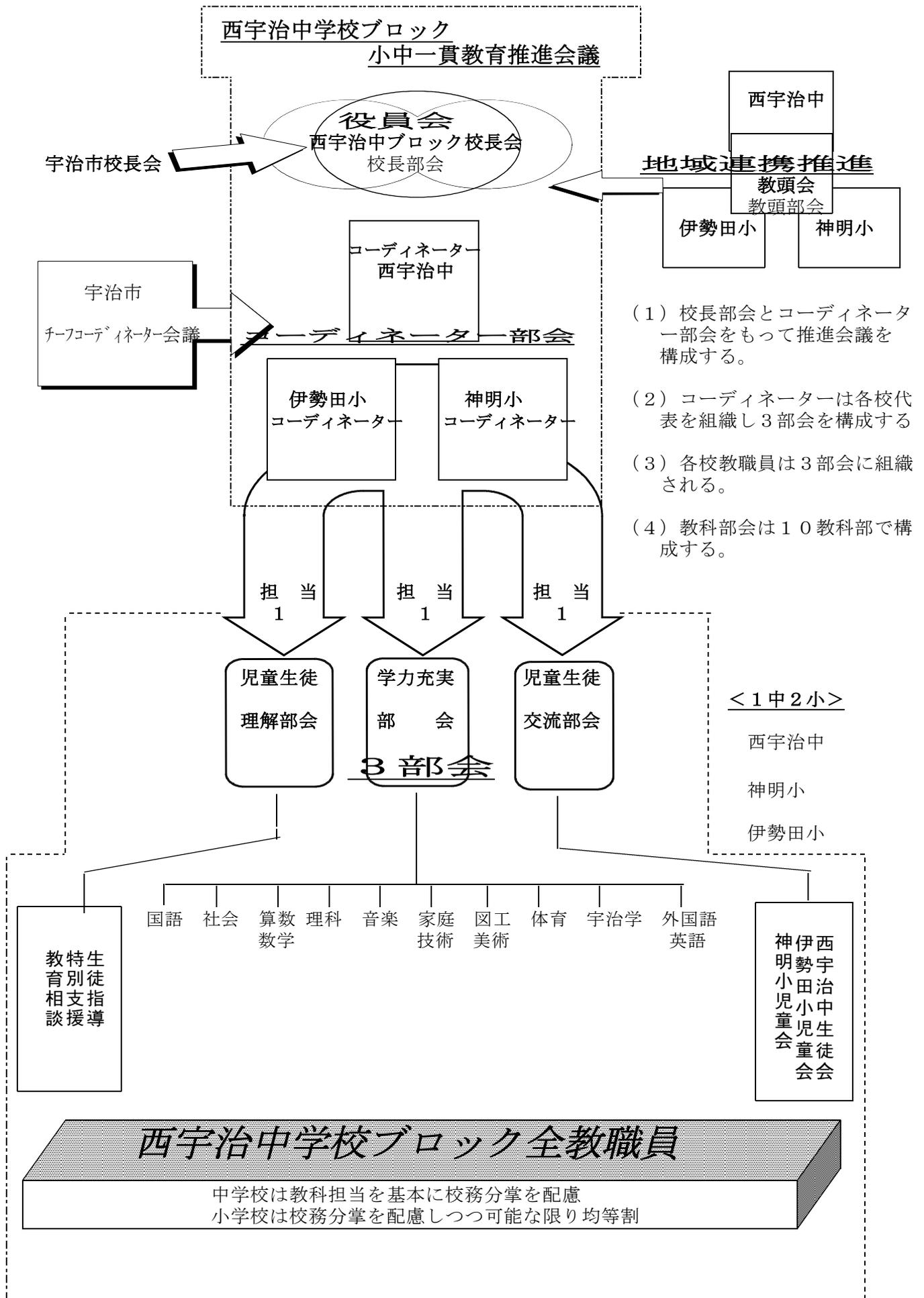
(6)保護者・地域向け啓発計画

- ・広報誌発行（小中学校保護者配布、地域へ配布）
- ・小中一貫教育啓発掲示板の充実
- ・各校の学校だよりを他校へ配布（小5 小6 中1を対象）
- ・各校HPでの広報

(7)その他(地域の実態に即した中学校ブロック独自の取組内容等)

- ・西宇治オープンフェスタへの参加

5 平成26年度小中一貫教育を推進する組織図



- (1) 校長部会とコーディネーター部会をもって推進会議を構成する。
- (2) コーディネーターは各校代表を組織し3部会を構成する
- (3) 各校教職員は3部会に組織される。
- (4) 教科部会は10教科部で構成する。

組 織 構 成

組織項目	役職名	氏 名	職 務	学 校 名	
推進会議	校長部会	井戸 充	校長	西宇治中学校	
		東堂 光明	校長	伊勢田小学校	
		川上 博	校長	神 明小学校	
	コーディネーター会議	学力充実担当	小槌 晶乃	教務主任	神 明小学校
		児童生徒理解担当	有山 明利	チーフコーディネーター	西宇治中学校
		児童生徒交流担当	立原 隆弥	少人数指導担当	伊勢田小学校
地域連携 推進会議	教頭部会	森 義明	教頭	西宇治中学校	
		角田 泰志	教頭	伊勢田小学校	
		本田 慶裕	教頭	神 明小学校	
3 部会	学力充実部会 (各教科部会担当)	大石 充士	教諭	西宇治中学校	
		澤田 圭太	教諭	伊勢田小学校	
		橋田 茂	教諭	神 明小学校	
	児童・生徒理解部会 (各校生徒指導担当)	永井 水平	教諭	西宇治中学校	
		辻村 禎夫	教諭	伊勢田小学校	
		井口 満男	教諭	神 明小学校	
	児童・生徒交流部会 (児童会・生徒会担当)	星野 裕大	教諭	西宇治中学校	
		後藤 明子	教諭	伊勢田小学校	
		黒崎 信治	教諭	神 明小学校	

平成26年度の実施計画案

(1) コーディネーター部会の仕事

① 広報誌の発行（学期1回以上）	ブロックのニュース、進行状況等
② 月2回の打合せ会議	課題交流、情報交換、対応、検討等
③ ブロックジョイントプランの作成	
④ 事業計画の具体化	詳細、3部会へ、各校へ下ろす
⑤ コーディネーター部会の運営	

(2) 計画事業

学期	月	児童・生徒	教 師	補 足
1	4		推進会議	方針等の検討
	5	職場体験	コーディネーター会議 三部会担当者会	合同研修会に向けて 児童・生徒交流
	6	あいさつ運動	コーディネーター会議 合同研修会20日（金）	児童・生徒理解部・学力充実部・児童 ・生徒交流部 児童会・生徒会交流
2	7		コーディネーター会議 学力充実部会 ふり返りスタディ交流 広報誌発行	夏季研修会に向けて 積極的に参加（中学校で） 随時発行
	8	伊勢田小夏祭り	夏季研修会22日（金）AM 推進委員会	児童・生徒交流 企画と運営（学力充実部） 2・3学期へ継続
	9	中学校体育大会 あいさつ運動	コーディネーター会議	児童・生徒交流 児童会・生徒会交流
	10	文化祭合唱リハーサル見学 小学校運動会	コーディネーター会議 学力充実部会 最終リハーサル(10/9) 合同研修会29日（水）	公開授業研究会に向けて 児童・生徒交流 児童・生徒交流 公開授業含む
	11	神明学区文化祭 部活動参加 児童会、生徒会合同取組	コーディネーター会議 西宇治中体験入学12日（水） 土曜参観(オープンスクール)	児童・生徒交流 児童・生徒交流 3校同時開催 募金活動、清掃活動、社会貢献等
	12	部活動参加	コーディネーター会議 広報誌発行	総括に向けて 中学（陸上部）が小学校駅伝出前指導 随時発行
3	1	小小連携 あいさつ運動	コーディネーター会議 保護者向け授業参観	総括について サンガふれあい隊 積極参加 児童会・生徒会交流
	2	部活動指導	コーディネーター会議 推進会議	総括 総括・来年度に向けて 中学校から出前指導
	3		コーディネーター会議 広報誌発行	来年度への引き継ぎ事項について 随時発行

*コーディネーター会議は月2回開催

*3部会も定例会をもつ

*推進会議は月1開催を目標とし、コーディネーター会議と同時開催も可能とする

*校長部会 教頭部会 は必要に応じて招集・開催とする

平成26年度 南宇治中学校ブロック ジョイントプラン

－ 小中一貫教育推進計画 －

宇治市立南宇治中学校	校長	江口	勝彦
宇治市立西大久保小学校	校長	濱野	俊朗
宇治市立平盛小学校	校長	川合	早苗

小中一貫教育コーディネーター

◎ (南宇治) 中学校	氏名	教諭	森田	佳慧
(西大久保) 小学校	氏名	教諭	俣野	岳
(平盛) 小学校	氏名	教諭	向井	毅

1 ブロック小中一貫教育目標・めざす子ども像

＜南宇治中学校ブロック小中一貫教育目標＞

「夢や希望を持ち、未来をたくましく生きぬく児童生徒の育成」

＜9年間で育てたい力＞

- (1) 自ら学び、共に学び合い、真理を探究する力
 - ① 授業規律の確立と基礎・基本の徹底
 - ② 言語活動の充実
 - ③ 学習意欲の向上
- (2) 豊かな心を持ち、人間関係を築く力
 - ① 集団の中での自己存在感の確立
 - ② 共感的人間関係を基盤とした教育活動の推進
 - ③ 思いやりや心づかいがあふれる実践的態度の育成
- (3) 生命を大切に、たくましく生きる力
 - ① 目標に向かって挑戦する意欲の高揚
 - ② くじけず、着実に歩む強い心の育成
 - ③ 自分や仲間の生命を尊重する態度の育成
- (4) 未来に向けた自分の生き方を求める力
 - ① 自分の良さや適性を伸ばし、自尊感情を高める取組の推進
 - ② 自分の目標を定めるための体験や学びの充実
 - ③ 児童・生徒の夢をはぐくむ学校・家庭・地域の連携

2 平成26年度中学校ブロック小中一貫教育取組の重点(各中学校ブロックにおける重点取組)

- (1) 児童生徒交流の取組の充実を図る。
- (2) 学力、進路を保障する取組の充実を図る。

3 平成26年度小中一貫教育の到達目標達成に向けての具体的取組

- (1) 中学校ブロック小中一貫教育推進組織体制や計画・取組についての点検・評価の実施
 - ・コーディネーター会及び推進委員会の計画的実施
 - ・コーディネーター会及び推進委員会等における教科連携加配教員の効果的な活用
 - ・チーフコーディネーターの定期的な学校訪問

- (2) 中学校ブロック校長会の指導に基づいた推進組織体制の充実
 - ・ブロック校長会をふまえ、コーディネーター会及び推進委員会の実施
 - ・ブロック校長会の指導に基づく推進計画の立案・改善充実
- (3) 中学校ブロックにおける教職員の研究・研修の充実
 - ・公開授業参観の実施
 - ・合同研修会の実施
 - ・専門部会の計画的実施
 - ・事前研・事後研を含む授業研究の実施
 - ・宇治学部フィールドワークの実施
- (4) 9年間を見通した系統的・継続的学習指導並びに生徒指導についての研究・研修の充実
 - ・公開授業参観の実施
 - ・事前研・事後研を含む授業研究の実施
 - ・授業規律の共有
 - ・小中教員が協働で指導案を作成し、ティームティーチング授業を実施
 - ・外国語活動英語部、国語部、算数数学部、連携授業（音楽）部の年間を通じた交流、授業研究、学力分析
 - ・「宇治学」小小連携授業の実施
 - ・中学校教員（国語部他）による小学校での授業の実施
- (5) 中学校ブロックにおける児童生徒の交流事業、体験活動の充実
 - ・小学6年生の授業体験・部活動体験の実施
 - ・中学生による小学生指導支援
 - ・小中合同地域清掃ボランティア活動の実施
 - ・児童会生徒会合同会議の実施
 - ・児童会生徒会合同あいさつ運動の実施
- (6) 保護者や地域に向けた目に見える取組の実施による積極的な情報発信の充実
 - ・小中一貫教育掲示板へのニュース等掲示
 - ・学校要覧、学校だより、ブロック教育目標を掲載
 - ・学校だより及び学校ホームページに小中一貫教育の取組を掲載
 - ・他校に学校だよりを配布
 - ・地域に学校だよりを配布
 - ・「小中一貫教育だより」をブロックの保護者対象に年3回発行
- (7) 「各中学校ブロック独自の目標」
 - ・児童生徒交流の取組の充実を図る。
 - ・学力、進路を保障する取組の充実を図る。
 - ・南宇治中学校ブロックの取組を、保護者や地域に向けて積極的に発信する。

4 平成26年度の実施計画

(1) 重点目標に係る取組

ア 推進組織体制の充実について

- ・コーディネーター会の実施（4月30日、6月2日、6月25日、7月17日、8月28日、10月、11月、12月、1月、2月、3月）
- ・推進委員会の実施（5月15日、6月10日、7月1日、8月22日、12月、2月、3月）
- ・各専門部会（5月23日、8月22日、他）

イ 授業研究会の充実について

- ・公開授業参観（5月15日、5月23日、6月25日）
- ・小中連携加配教員による小学校5，6年音楽の授業（通年）
- ・小小連携授業（宇治学部「宇治茶学習」、国語部、他）

ウ 地域・保護者を巻き込んだ取組について

- ・土曜参観（南宇治中：5月10日、11月8日 西大久保小：6月7日 平盛小：6月14日）
- ・三校合同講演会

エ 計画・取組についてのまとめ・評価について

- ・コーディネーター会（2月）
- ・推進委員会（2月）
- ・各専門部会

(2) 教職員が交流する取組

- ・公開授業参観（5月15日、5月23日、6月25日）
- ・合同研修会（5月15日、5月23日、6月25日、8月22日）
- ・各専門部会（5月23日、8月22日、他）
- ・小中連携加配教員による小学5，6年音楽の授業（通年）
- ・教職員対象小中一貫だよりの発行（年3回）

(3) 児童生徒が交流する取組

- ・小学6年生授業体験・部活動体験（10月7日）
- ・中学生による小学生指導支援
- ・地域清掃ボランティア活動（6月18日、12月2日）
- ・児童会生徒会合同会議（7月28日）
- ・児童会生徒会合同あいさつ運動

(4) 保護者・地域が交流する取組

- ・グローバルフェスタinみなみうじ（11月8日）
- ・西大久保新春三世代交流会（1月）
- ・平盛ふるさとまつり（2月8日）
- ・大久保青少年指導センターセンター子ども文化祭（3月）

(5) 「いしずえ学習」「宇治学」の取組

- ・「いしずえ学習」ワークシートの活用
- ・宇治学部フィールドワーク
- ・西大久保小学校6年生対象帰国外国人児童生徒理解学習

(6) 保護者・地域向け啓発計画

- ・学校だより、ホームページに小中一貫教育の取組掲載
- ・小中一貫教育だよりの発行（年3回）
- ・小中一貫教育ニュース掲示板の活用
- ・小中一貫教育の項目を含めたアンケートの実施

(7) その他（地域の実態に即した中学校ブロック独自の取組内容等）

〈環境教育〉

- ・環境学習の実施
- ・地域清掃ボランティア活動の合同実施（6月18日、12月2日）

〈特別支援教育〉

- ・特別支援教育に関する合同研修会（8月22日）

〈QUの実施〉

- ・QUの実施

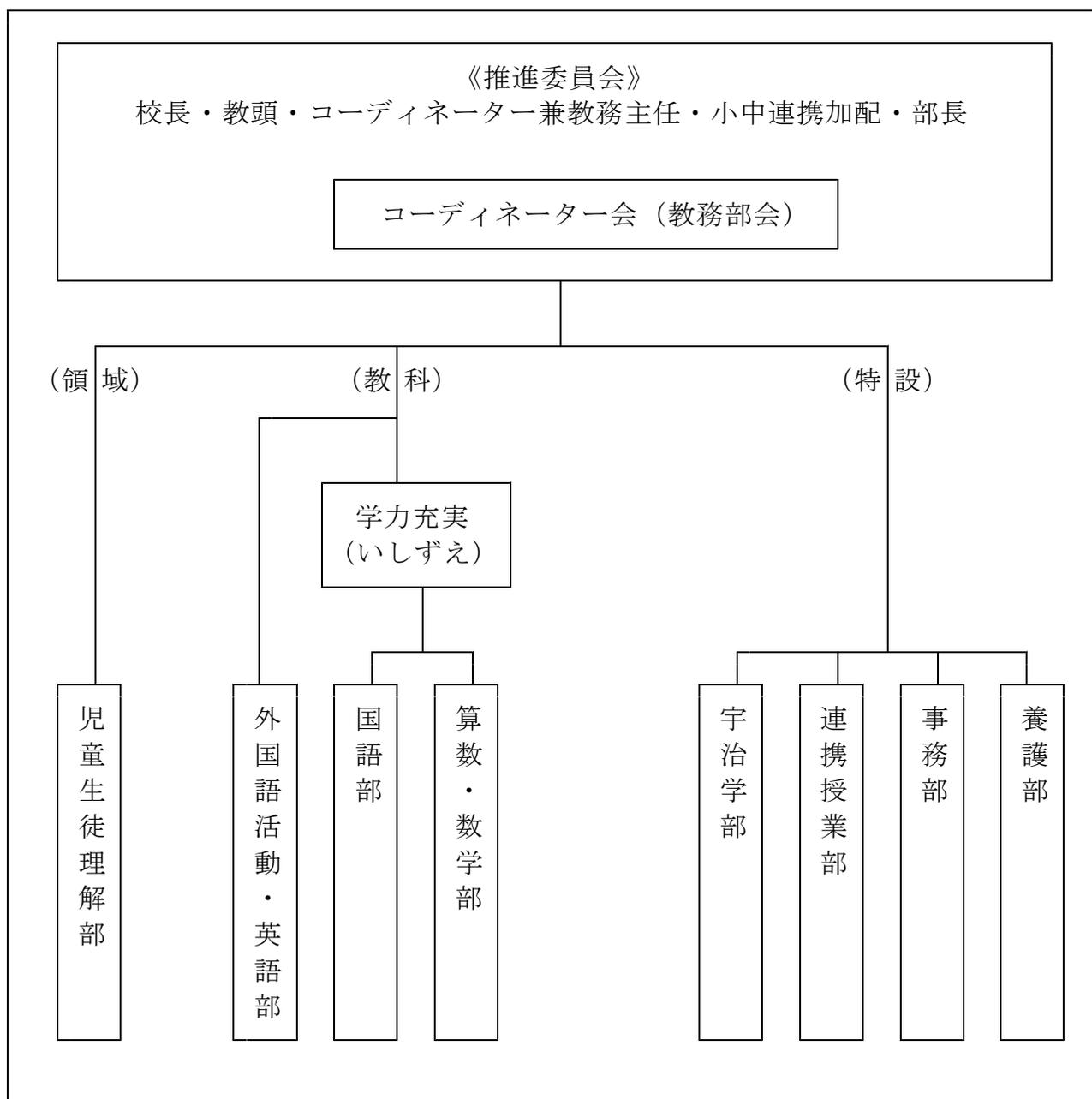
〈食育の推進と生活習慣の改善〉

- ・コーディネーター会、推進委員会における食育の取組の報告
- ・教職員対象小中一貫教育だよりでの交流

〈帰国外国人生徒教育の推進〉

- ・西大久保小学校6年生対象帰国外国人児童生徒理解学習
- ・南宇治中学校・中国文化拳術部（中文拳）員と小学生との中国武術交流

5 平成26年度小中一貫教育を推進する組織図



平成26年度 広野中学校ブロック ジョイントプラン
 - 小中一貫教育推進計画 -

宇治市立 広野中学校 校長 瀬野 克幸
 宇治市立 大久保小学校 校長 山田 啓二
 宇治市立 大開小学校 校長 村田 正直

小中一貫教育コーディネーター
 広野中学校 職名 教諭 氏名 小林 哲也
 大久保小学校 職名 教諭 氏名 天花寺 裕◎
 大開小学校 職名 教諭 氏名 手塚 ゆかり

1 ブロック小中一貫教育目標・めざす子ども像

<教育目標>
 夢や希望を持って未来を切り拓ける児童生徒の育成
 <9年間で育てたい力(めざす児童生徒像)>
 自ら学び考える力 豊かな人間関係を築ける力
 健やかな体で粘り強くやり抜く力 自分の生き方を求めていく力

2 平成26年度中学校ブロック小中一貫教育の重点(中学校ブロックにおける重点取組)

◎今までの研究の成果・課題を整理して組織体制を見直し、研究内容・取組の精選を行い、より効果的な研究のスタイルを確立する。(無理なく、息長く、定着した取組に)

- 宇治ひろの学園小中一貫教育の円滑な運営及び推進
 - ・年間の計画(5月:総会 8月:合同研修会 3月:各校でまとめ)
 - ・伝え合う力の育成のための教育活動の取組
 - ・2小1中で協力した授業研究(小小の連携、小中の連携)
 - ・児童生徒の交流・小学校教員と中学校教員の交流の充実
 - ・各部会の取組の推進と内容の整理
- 小小連携の充実
- 保護者、地域への情報発信と啓発の充実
- 家庭学習促進実践研究の取組
 - ・昨年度の研究の成果・課題を整理し、授業につながる家庭学習のあり方について研究を進める

3 平成26年度小中一貫教育の到達目標達成に向けての取組方策

- (1) 中学校ブロック小中一貫教育課推進組織体制や計画・取組についての点検・評価の実施
 - ・組織体制の見直しと各部会の取組内容の整理
 - ・H25年度の成果と課題を整理した取組の推進
 - ・大久保小と大開小の小小連携の計画及び実施、点検・評価
- (2) 中学校ブロック校長会の指導に基づいた推進組織体制の充実
 - ・各部会の組織的な活動の実施
 - ・コーディネーター会議(事務局会議)の定期的な実施(月1回以上)

(3) 中学校ブロックにおける教職員の研究・研修の充実

- ・教員の定期的な打合せの時間の確保
- ・各部会の校種をこえた組織的な活動の実施
- ・大久保小と大開小の小小連携の計画及び実施(授業研への参加・交流)
- ・3校での夏季合同研修の実施
- ・小6の中学校体験学習での小中教員の合同での授業
- ・中学校教員の小学校体験研修
- ・小学校教員の中学校部活動見学

(4) 9年間を見通した系統的・継続的学習並びに生徒指導についての研究・研修の充実

- ・大久保小と大開小の小小連携の計画及び実施(授業研への参加・交流)
- ・全国学力学習状況調査や京都府学力診断テスト、及びブロック独自で取り組むCRTテストの結果の分析と課題解決に向けた取組の検討及び実施
- ・コーディネーター会議(事務局会議)の定期的な実施(月1回以上)
- ・家庭学習実践促進研究の取組(授業につながる家庭学習の研究推進)
- ・児童理解部会、特別支援教育部会の合同研修の計画及び実施
- ・中学校ブロック独自の生徒指導カルテの作成・引継

(5) 中学校ブロックにおける児童生徒の交流事業、体験活動の充実

- ・HOT-MEETING(3校合同児童生徒会)の実施(年3回程度)
- ・3校児童生徒会合同での取組の充実(あいさつ運動、エコキャップ・プルップの回収)
- ・中学生が小学校低学年への絵本の読み聞かせ小学校クラブへのアシスタントティーチャーとしての参加
- ・小6の中学校体験学習での小小交流事業(福島ひまわりプロジェクトの実施)

(6) 保護者や地域に向けた目に見える取組の実施による積極的な情報発信の充実

- ・HOOP(宇治ひろの学園小中一貫教育だより)の保護者・地域への全戸配布
- ・各校の学校だよりでの紹介やホームページの活用
- ・各校での行事を活用した積極的な情報発信
- ・3校合同の地域懇談会や保護者懇談会の計画及び実施

(7) 夢や希望を持って未来を切り拓ける児童生徒の育成

- ・授業につながる家庭学習の研究の推進
- ・中学校教員の小学校体験研修による小中連携(小中教職員の交流)
- ・宇治ひろの学園としての小中一貫教育のスタイルの確立

4 平成26年度の実施計画

(1) 重点目標に係る取組

ア 推進組織体制の充実について

- ・学校運営部会(3校長)
- ・合同部会
- ・コーディネーター会議(学園事務局会議)(月1回)

イ 授業研究会の充実について

- ・小学校学年部会(授業研の交流、参観)
- ・小6担任の中学校教科部会への参加
- ・夏季合同研での全国学力学習状況調査や京都府学力診断テスト、及びCRTテストの結果分析の報告 など

ウ 地域保護者を巻き込んだ取組について

- ・3校合同の地域懇談会(7月)
- ・「家庭学習」に関わって、講師を招聘した3校合同保護者向け講演会(10月)
- ・「家庭学習」をテーマにした、3校合同保護者懇談会(9月)

- ・大久保青少協子どもの主張大会(2月)(大開小児童、広野中学生徒も参加)
(宇治市指定事業である「家庭学習促進実践研究」とも関連して取り組む。)
- ・大開っ子くらぶへの広野中学校運動部からの参加
- エ 計画・取組についてのまとめ・評価について
- ・各校職員会議にてまとめ・評価
- ・事務局会議で総括し、次年度へ

(2)教職員が交流する取組内容

- ・宇治ひろの学園小中一貫教育研究会の開催
(5/20:総会, 8/20:合同研修会, 年度末総括は各校で行う)
- ・各部会の開催
- ・小一小の学年主任・代表者会を設置、学年部会の定期開催
- ・中学校の部活動への小学校教員の参観
- ・小6の中学校体験学習での小中教員の合同での授業
- ・中学校教員の小学校体験研修
- ・小学校教員の中学校部活動見学 など

(3)児童生徒が交流する取組内容

- ・HOT-MEETING(3校合同児童生徒会)の実施(年3回程度)
- ・3校でのエコキャップ・プルトップの回収
- ・3校での「福島ひまわり里親プロジェクト」参加
- ・広野中ちよいボラへの大開小児童の参加
- ・3校合同あいさつ運動の実施
- ・中学生が小学校低学年への絵本の読み聞かせ
- ・中学生が小学校クラブへのアシスタントティーチャーとしての参加 など

(4)保護者・地域が交流する取組

- ・3校合同の地域懇談会(7月)
- ・3校合同保護者向け講演会(10月)
- ・3校合同保護者懇談会(9月)
- ・大久保青少協子どもの主張大会(2月)(大開小児童、広野中学生徒も参加)
など

(5)「いしずえ学習」「宇治学」の取組内容

- ・3校での朝読書の実施や中学1年生での振りスタの実施(いしずえ)
- ・7年間の年間計画の試行調整と実施(宇治学) など

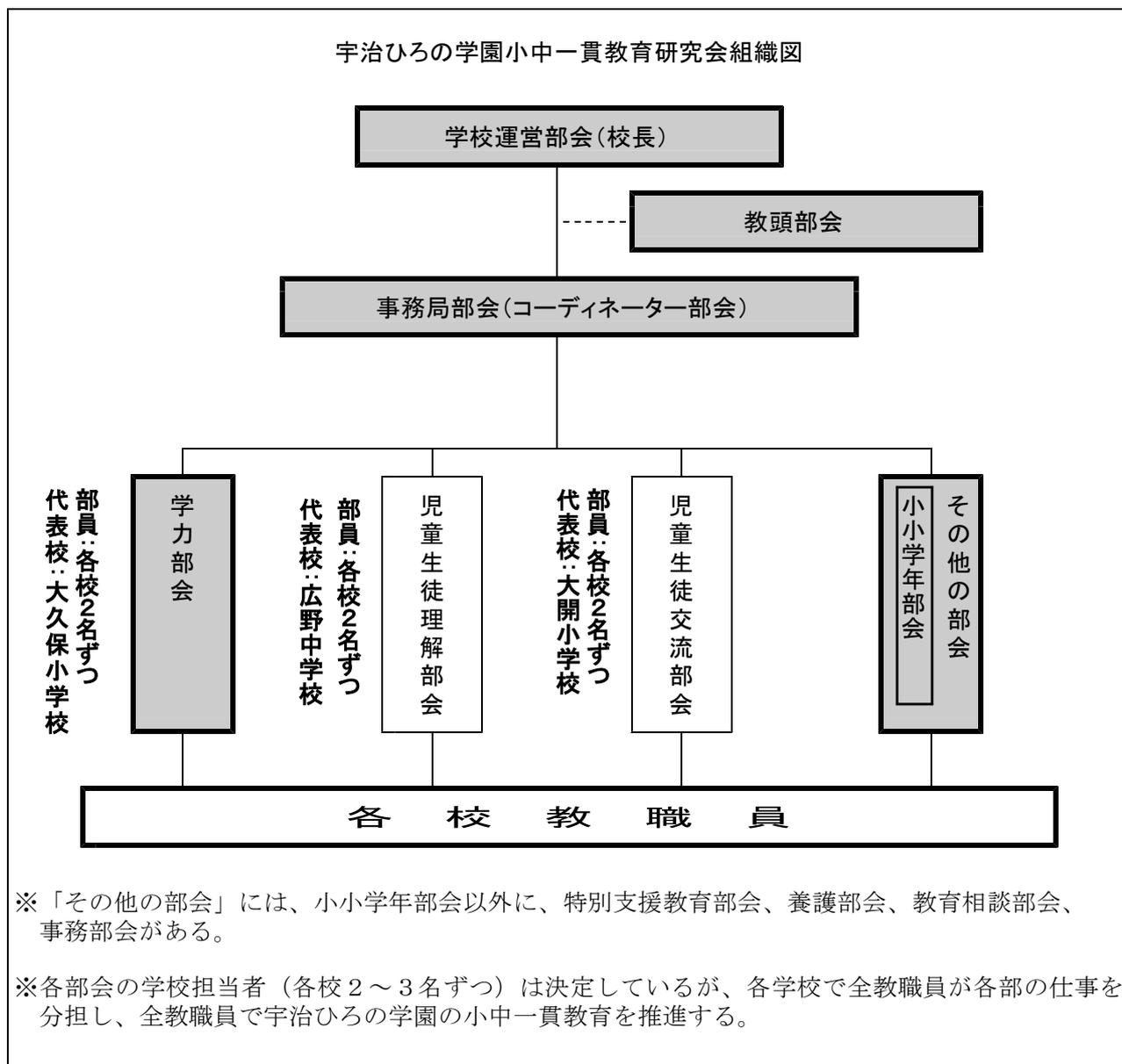
(6)保護者・地域向け啓発計画

- ・HOOP(宇治ひろの学園小中一貫教育だより)の保護者・地域への全戸配布
- ・各校の学校だよりでの紹介やホームページの活用
- ・各校での行事を活用して積極的に情報発信する。
- ・各校の学校だよりでの紹介やホームページの活用
- ・宇治ひろの学園及び3校のホームページの更新

(7)その他(地域の実態に即した中学校ブロック独自の取組内容 等)

- ・宇治市教育委員会研究指定事業である『家庭学習促進実践研究』の推進とも重ねて小中一貫教育に取り組む。

5 平成26年度小中一貫教育を推進する組織図



平成26年度 東宇治中学校ブロック ジョイントプラン

－ 小中一貫教育推進計画 －

宇治市立東宇治中学校	校長	川嶋	浩司
宇治市立三室戸小学校	校長	吉永	均
宇治市立岡屋小学校	校長	石田	光春
宇治市立南部小学校	校長	筒井	眞代

小中一貫教育コーディネーター

◎ 東宇治中学校	氏名	肥川	正志
三室戸小学校	氏名	小林	陽子
岡屋小学校	氏名	澤山	恵美
南部小学校	氏名	小谷	実

1 ブロック小中一貫教育目標・めざす子ども像

教育目標「命を輝かす人間」
めざす児童・生徒像
「自ら学び学習する児童・生徒」
「思いやりのある児童・生徒」
「たくましく生きる児童・生徒」
「健康や安全を考える児童・生徒」

2 平成26年度中学校ブロック小中一貫教育取組の重点（各中学校ブロックにおける重点取組）

- ・小中一貫教育推進組織と各校内組織がより機能的につながるよう調整し、日常的に組織的取組ができるよう改善する。
- ・学力充実に向けてのこれまでの取組を検証し成果点を公表する。
- ・家庭学習の定着をめざした取組を進める。
- ・児童生徒の交流事業や体験活動の充実を図る。
- ・本ブロックの児童生徒の意識や地域の特徴を理解し、独自の取組を創造する。

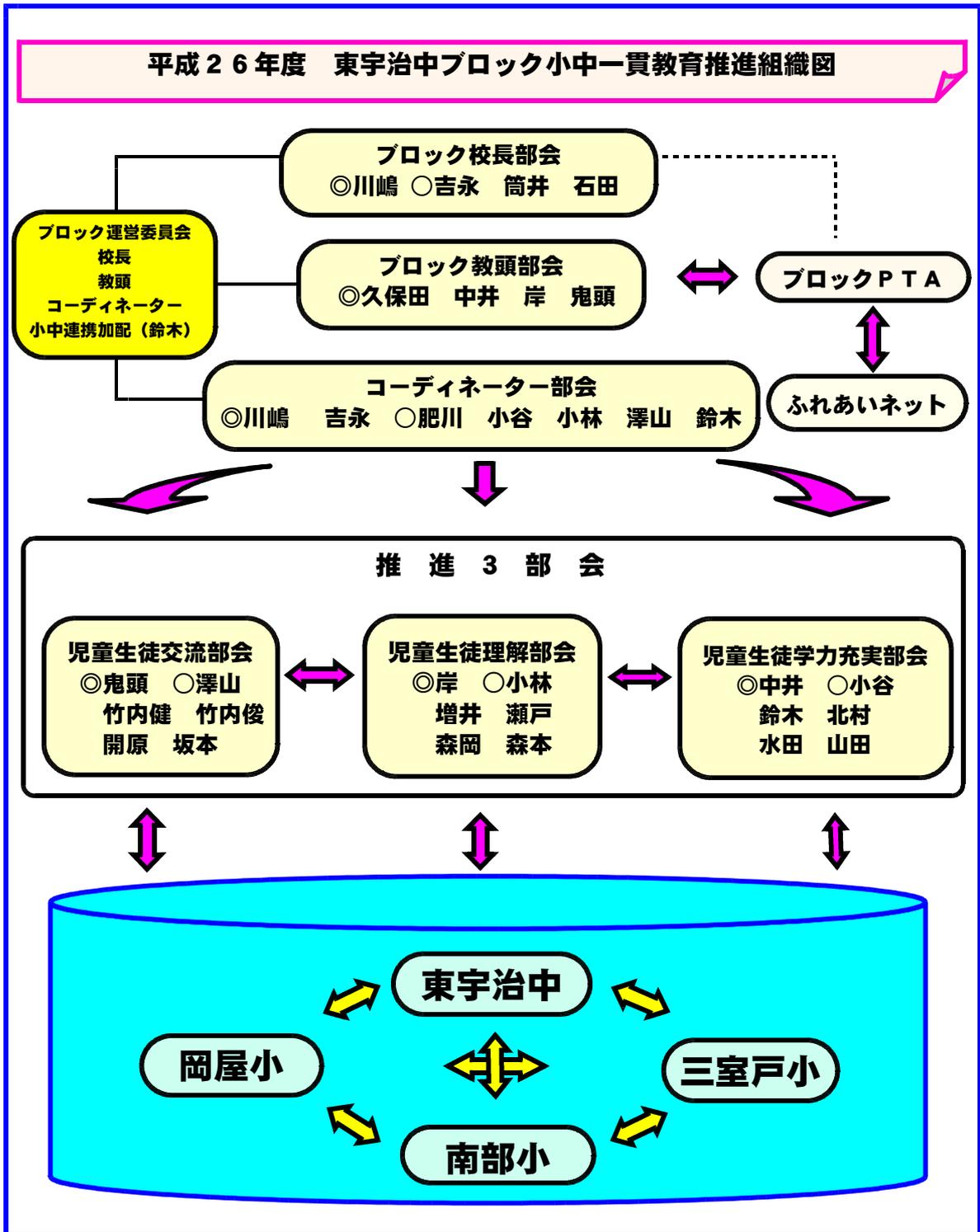
3 平成26年度小中一貫教育の到達目標達成に向けての具体的取組

- (1) 中学校ブロック小中一貫教育推進組織体制や計画・取組についての点検・評価の実施
取組を推進する中で、組織の機能性の点検および取組の成果を評価し、来年度に向けての改善点を提示する。
- (2) 中学校ブロック校長会の指導に基づいた推進組織体制の充実
ブロック校長会・ブロック教頭会・コーディネーターで組織する運営委員会で、取組を検証し推進する。
- (3) 中学校ブロックにおける教職員の研究・研修の充実
小中合同授業研究会や児童生徒交流部・児童生徒理解部・児童生徒学力充実部でそれぞれテーマを設定し研修を行う。また、夏期研修会では、本ブロック独自のテーマで全体研修を行う。
- (4) 9年間を見通した系統的・継続的学習指導並びに生徒指導についての研究・研修の充実
児童生徒学力充実部・児童生徒理解部での中心テーマとして、定期的に部会を開き、研究や研修を進める。
- (5) 中学校ブロックにおける児童生徒の交流事業、体験活動の充実
昨年度の取組を継承し、さらに範囲を広げて取組を進める。
- (6) 保護者や地域に向けた目に見える取組の実施による積極的な情報発信の充実
リーフレットや小中一貫教育だよりを配布する。
- (7) 「各中学校ブロック独自の目標」
「学力の充実に向けて、学力分析や合同授業研究等の取組を推進する。」
- (8) 「家庭学習支援ノート」を発行する。

4 平成26年度の実施計画

- (1) 重点目標に係る取組
 - ア 推進組織体制の充実について
 - ・より機能的な組織体制になるよう改善する。
 - イ 授業研究会の充実について
 - ・小中合同授業研究会(5月14日 東宇治中学校)
 - ウ 地域・保護者を巻き込んだ取組について
 - ・地区懇談会(7月4日)
 - ・校区パトロール(8月)
 - ・東宇治コミセンまつり(11月16日)
 - ・PTA(育友会)合同研修会
 - ・おおばくまつり参加(12月14日)
 - エ 計画・取組についてのまとめ・評価について
 - ・コーディネーター会議、運営委員会
- (2) 教職員が交流する取組
 - ・中学校ふり返りスタディへの小学校教員の支援参加
 - ・推進3部会(5月14日)
 - ・小中連絡会(5月20日・適宜)
 - ・東宇治中ブロック合同研修会
- (3) 児童生徒が交流する取組
 - ・小学生の中学校体験入学(11月12日)
 - ・エコキャップ回収(2月)
 - ・部活交流
- (4) 保護者・地域が交流する取組
 - ・おおばくまつり
- (5) 「いしずえ学習」「宇治学」の取組
 - ・補習時間や自主学習においていしずえ学習プリントを活用
 - ・年間指導計画に基づき宇治学を実施
 - ・中学校より「スクールライフサポートブック」を小学校6年生に配布
- (6) 保護者・地域向け啓発計画
 - ・リーフレットの配布
 - ・小中一貫だよりの発行(小・中学校の保護者に配布、掲示)
 - ・ブロック校の学校だよりを学校内掲示
- (7) 「家庭学習支援ノート」の発行
 - ・9年間を見通した家庭学習についての方法や手順を示した支援ノートの発行
- (8) その他(地域の実態に即した中学校ブロック独自の取組内容等)
 - ・地域の児童生徒の意識や特徴を理解し、独自の取組を検討する。

5 平成26年度小中一貫教育を推進する組織図



※児童生徒学力充実部の下に、以下の部会を置く。
 ○宇治学部会 ○道徳部会 ○算数・数学会 ○国語部会 ○社会部会
 ○理科部会 ○外国語・英語部会 ○芸術部会 ○保体部会

※役割分担

ブロック校長部会	教育目標、方向性
ブロック教頭部会	企画、広報、研修、啓発、地域連携
コーディネーター部会	教育課程、年間指導計画などの運営
児童生徒交流部会	児童生徒交流事業内容
児童生徒理解部会	児童・生徒指導、教育相談、特別支援教育
児童生徒学力充実部会	各教科の9年間のカリキュラム

平成26年度 木幡中学校ブロック ジョイントプラン

－ 小中一貫教育推進計画 －

宇治市立木幡中学校	校長	南	享
宇治市立御蔵山小学校	校長	小畑	隆
宇治市立木幡小学校	校長	八木	章
宇治市立笠取小学校	校長	小山	行雄
宇治市立笠取第二小学校	校長	小田	康博

小中一貫教育コーディネーター

◎(木幡)中学校	氏名	河村	直子
(御蔵山)小学校	氏名	中村	愛子
(木幡)小学校	氏名	西村	浩
(笠取)小学校	氏名	赤野	良英
(笠取第二)小学校	氏名	石田	博之

1 ブロック小中一貫教育目標・めざす子ども像

木幡中ブロック教育目標

「故郷（ふるさと）で夢や希望をはぐくみ、未来を切り拓く児童生徒」

2 平成26年度中学校ブロック小中一貫教育取組の重点(各中学校ブロックにおける重点取組)

- ・木幡中ブロック小中一貫教育推進委員会を中心に組織的な取組をおこなう。
- ・取組計画を立て、教職員や児童生徒の交流事業や、合同事業をすすめる。
- ・全教員がいずれかの教科に所属し授業研究をすすめる。
- ・全教員がいずれかの領域部会に所属し小中の系統的、継続的な指導をすすめる。
- ・児童生徒、保護者、教職員、地域への啓発活動をすすめる。

3 平成26年度小中一貫教育の到達目標達成に向けての具体的取組

(1) 中学校ブロック小中一貫教育推進組織体制や計画・取組についての点検・評価の実施

部会ごとのアンケートをもとに推進委員会の中で総括する。その中で、成果や課題を明らかにし次年度に有効な方向をさぐる。

(2) 中学校ブロック校長会の指導に基づいた推進組織体制の充実

ブロック校長会、教頭会と小中一貫教育推進委員会を常にリンクさせ、計画的に取組を推進する。6領域部会および8教科部会の定例化を図り特色のある取組を推進する。

(3) 中学校ブロックにおける教職員の研究・研修の充実

- ・各校の学校行事の計画段階で一貫教育を意識した取組を計画的、有効的に組み込む。
- ・年間3回の小中教員の合同研修会実施（6月2日、8月22日、11月19日）を柱にそれに向けて各部長を中心とした代表者会を継続的に行う。
- ・各領域部会の定例化を図り取組を積極的にすすめていく。

(4) 9年間を見通した系統的・継続的学習指導並びに生徒指導についての研究・研修の充実

- ・中学校保健体育科教員による全小学校での授業（通年、毎週）を実施する。
- ・中学校の理科教員を通して小大連携授業を実施する。
- ・僻地校を含んだ小小連携授業を実施する。
- ・合同研修会を通して小中教員のTTによる指導案の作成から研究授業を行う。（11月19日）
- ・小中が継続的に一貫した目標で取り組む事で小中のなめらかな接続を図る。
- ・各小学校において積極的に教科担当制を取り入れる。

(5) 中学校ブロックにおける児童生徒の交流事業、体験活動の充実

- ・授業研究会に向けて取り組む中で、小中の学習指導の流れをお互いが認識し、系統的・継続的な指導を行う。
- ・学習の手引きを作成し配布する。

(6) 保護者や地域に向けた目に見える取組の実施による積極的な情報発信の充実

- ・各校に小中一貫教育コーナーを設置し各種通信等を掲示する。
- ・「小中一貫教育通信」（保護者、児童生徒向け）（教職員向け）を定期発行する。
- ・中学校の「生活だより」（毎月発行）を全6年生に配布する。
- ・ホームページ等の活用。

(7) 「各中学校ブロック独自の目標」

- ・3回の小中合同研修会を柱に教科部会と領域部会の両方が研究を深め取組を進める。

4 平成26年度の実施計画

(1) 重点目標に係る取組

- ア 推進組織体制の充実について
年度当初から領域と教科の部会を立ち上げ、組織的に取り組む。
- イ 授業研究会の充実について
小中合同授業に向けて、年間を通して計画的、組織的に見通しを持って取り組む。
- ウ 地域・保護者を巻き込んだ取組について
学校だより等の掲示や配布による啓発に取り組む。中学校を会場とした秋祭り「おもろいやんか木幡」で、ブロックの取組を紹介する。
- エ 計画・取組についてのまとめ・評価について
取組について、各部会毎でアンケートを行い、成果や課題を明らかにする。

(2) 教職員が交流する取組

①小中合同研修会の実施

- 第1回 6月2日（月）於 木幡中学校
- 第2回 8月22日（金）於 未定
- 第3回 11月19日（水）於 未定

②小中合同授業研究の実施

- ア. 中学校「学びの森」授業研究会への小学校教員の参加
6月11日（水） 10月29日（水） 2月18日（水）
- イ. 小中連携加配教員（保健体育）による保健体育科授業の指導
各小学校6年生週1時間（笠取、笠取二小は隔週）

ウ．中学校の理科教員を通して小大連携による理科授業の実施

③中学校教員による小学校への参観

6月26日（木）、10月20日（月）

④中学1年担当と旧6年生担当との連絡会の実施

5月 9日（金）授業参観と懇談実施

⑤小学校教員の中学校合唱コンクールへの参加

10月 9日（木）宇治市文化センター

⑥小学校教員による中学校の参観

(3) 児童生徒が交流する取組

①小学生の中学校への体験入学

11月12日（水） 歓迎行事の取組、クラブ活動の体験

②中学生の部活動単位での交流

- ・陸上部による駅伝指導
- ・吹奏楽部による小学校での発表会
- ・美術部による小学校作品展への展示発表
- ・小学校希望者を対象にした「スポーツ教室」の実施

③児童会、生徒会の交流

- ・小学校児童会本部役員会と中学校生徒会本部役員会が集まり交流会を実施

④三校交流をはじめとする小小連携の取組

6月25日（水）、11月21日（金）

(4) 保護者・地域が交流する取組

①ブロック小中学校の授業公開、運動会（体育大会）、文化祭（学習発表会）などへの保護者、教職員の相互参観。

②ふれあいフェスタ、おもろいやんか木幡への参加

③小学校区毎の行事への参加

(5) 「いしずえ学習」「宇治学」の取組

①ブロックで作成した「宇治学」実施計画にしたがい実施

②いしずえ学習の実施計画を検討する。

(6) 保護者・地域向け啓発計画

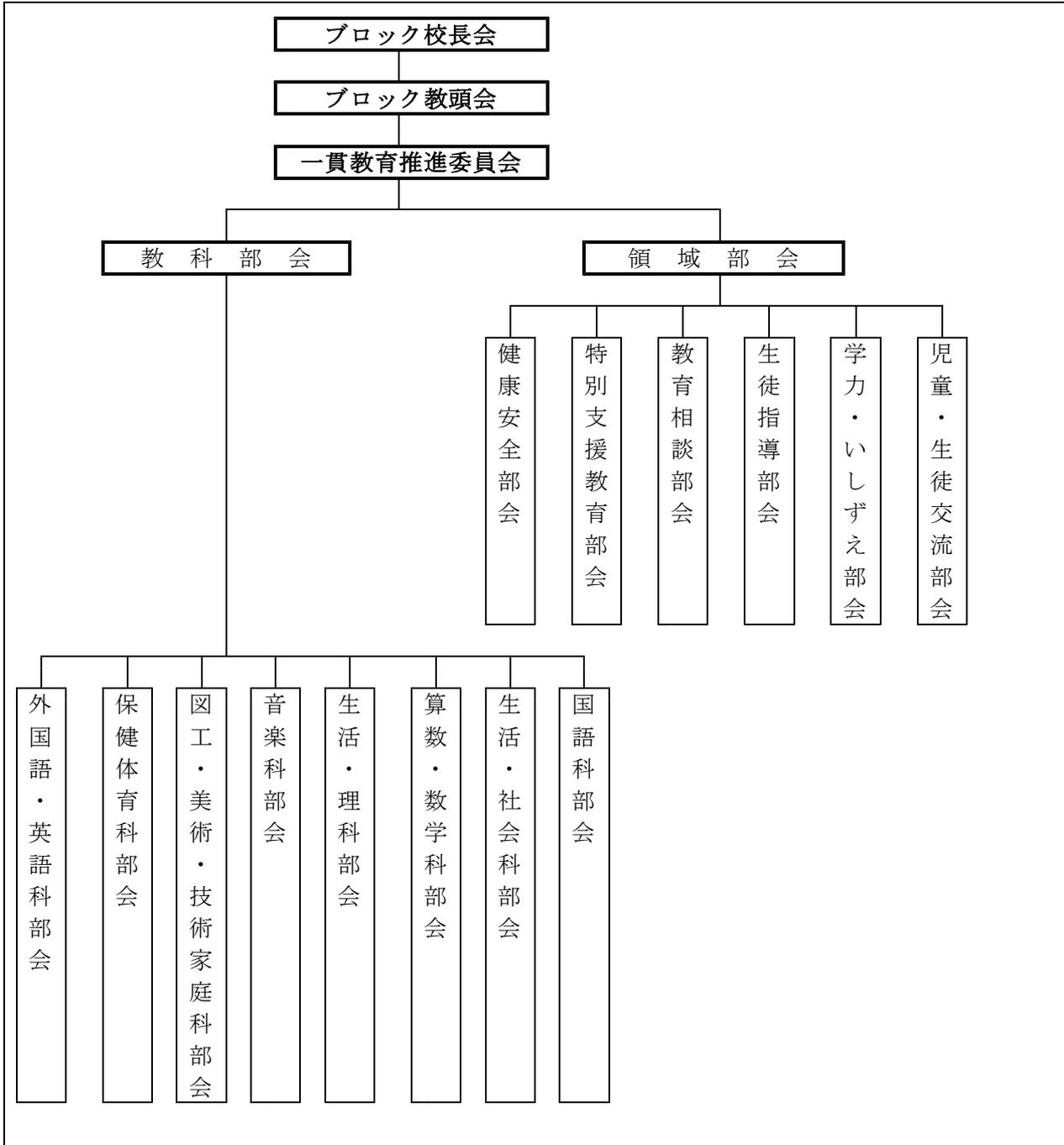
①各校の掲示板に交流コーナーを置き、他校の学校だよりなどを掲示する

②中学校の学校だより、生活だよりを全6年生へ配布する

③小中一貫教育通信の発行

(7) その他（地域の実態に即した中学校ブロック独自の取組内容等）
児童生徒、教員、保護者へのアンケートなどを通してよりスムーズな接続を目指す

5 平成26年度小中一貫教育を推進する組織図



平成 26 年度 宇治黄檗学園中学校ブロック ジョイントプラン

－ 小中一貫教育推進計画 －

宇治市立黄檗中学校 校長 伊家 正規

宇治市立宇治小学校 校長 伊家 正規

小中一貫教育コーディネーター

(黄檗) 中学校 氏名 齋藤 英司

◎(宇治) 小学校 氏名 葛山 雅

1 ブロック小中一貫教育目標・めざす子ども像

校訓

「たかく」 高い志を持って、学びの道を究める人

「すずしく」 さわやかな心、優しい心を持った人

「たくましく」 強い意志を持って、人生を切り拓く人

教育目標

高い志を持ち、他者と協調しながら、たくましく生き抜く人間を育成する。

めざす児童生徒像

- ・高い志を持って、学びの道を究める人（質の高い学力）
- ・さわやかな心、優しい心を持った人（豊かな人間性・社会性）
- ・強い意志を持って、人生を切り拓く人（意欲や情熱、健康な体）

2 平成 26 年度中学校ブロック小中一貫教育取組の重点（各中学校ブロックにおける重点取組）

小中一貫教育の推進～意欲的・主体的な学びと、学び合いを通して、質の高い学力と豊かな人間性や社会性を育てる教育活動の創造～

3 平成 26 年度小中一貫教育の到達目標達成に向けての具体的取組

- (1) 中学校ブロック小中一貫教育推進組織体制や計画・取組についての点検・評価の実施
小中で一つの組織と考え、打ち合わせ・職員会議・研修会を小中合同で行う。その中で、適切な小中一貫教育推進のために、教職員の情報交換と意思統一を確実に行之、随時、計画・取組についての点検・評価を行っていく。
- (2) 中学校ブロック校長会の指導に基づいた推進組織体制の充実
企画委員会、前期主任会、中後期主任会等の会議を設置し、ステージ毎の学習内容・生徒指導についての意見交換、指導方針の確認等を行っていく。その中で、小中一貫教育コーディネーターがパイプ役となり、前期・中後期主任会それぞれでの会議内容の共有化を図っていく。
- (3) 中学校ブロックにおける教職員の研究・研修の充実
小中で一つの組織と考え、研究・研修を小中合同で行う。また、ステージ間、教科部間の連携をさらに密にし、ステージ・教科毎の授業参観、研究授業、教材研究等を実施する。
- (4) 9年間を見通した系統的・継続的学習指導並びに生徒指導についての研究・研修の充実
〈学習指導〉
教育課程編成における3学年部（4・3・2制）の促進と相互連携の研究や発達段階に応じた指導法の開発を行う。
〈生徒指導〉
9年間の継続的な生徒指導を進めるために、生徒指導部長、主任、学年主任を中心にし

た生徒指導を進める。課題を小中で共有化し、規範意識の確立と自尊感情の醸成を行う。

- (5) 中学校ブロックにおける児童生徒の交流事業、体験活動の充実
共に学び、共に活動できる子どもたちを目指して、異年齢集団活動を実施する。
児童会、生徒会それぞれに独立した組織づくりではなく、学園会を組織して、小学生、中学生という枠組みを超えた学園の一員であるという意識を育む。
- (6) 保護者や地域に向けた目に見える取組の実施による積極的な情報発信の充実
- 実践報告会を実施し、研究の成果を発表する。
 - 様々な行事で、小中交流する機会をつくり、その意義と成果を示す。
 - HPや広報誌で、具体的な取組内容を紹介する。
- (7) 「9年間を通じた自己実現力の育成」
宇治黄檗中学校学園を卒業する9年生が希望する進路を実現できる学力を身につけさせるため、ステージに応じた学習方法の改善を行っていく。

4 平成26年度の実施計画

(1) 重点目標に係る取組

ア 推進組織体制の充実について

- 企画委員会 … 校長、副校長、教頭、主幹教諭、教務主任、生徒指導主任、学年主任、各部提案担当者
- 前期主任会 … 副校長、教頭（小）、主幹教諭（生徒指導担当）、教務主任（小）、小中一貫教育コーディネーター、1・2・3・4年学年主任
- 中後期主任会… 副校長、教頭（中）、教務主任（中）、生徒指導主任、小中一貫教育コーディネーター、5・6・7・8年学年主任

イ 授業研究会の充実について

- 小中合同での理論研修会を実施
- 小中合同の教科部会を中心とした授業参観の実施
- 小中合同の教科部会を中心とした単元指導系統表の作成
- ステージ毎の授業研究会の実施
- ステージ毎の授業重点事項の開発
- 小中合同での授業重点事項の共有化

ウ 地域・保護者を巻き込んだ取組について

- 学園会による、地域の方々へのアンケートの実施
- 育友会行事への部活動生徒の積極的な参加
- 実践報告会の実施
- 保護者のための進路セミナーの実施

エ 計画・取組についてのまとめ・評価について

- 4月当初に目標・具体的方策を決定
- 10月末に中間評価を提出
- 1月末に年度末総括を行い、2月に次年度に向けての改善策をまとめる。

(2) 教職員が交流する取組

- 小中合同での理論研修会を実施
- 小中合同の教科部会を中心とした授業参観の実施

- 小中合同の教科部会を中心とした単元指導系統表の作成
- ステージ毎の授業研究会の実施
- ステージ毎の授業重点事項の開発
- 小中合同での授業重点事項の共有化

(3) 児童生徒が交流する取組

- 黄檗ウォーカー（1年生と9年生の交流。入学間もない1年生に、9年生が校内の案内を行う。）
- 校種別体育大会内での児童・生徒交流、相互参観
- 校種別文化祭内での児童・生徒交流、相互参観
- OBAKU ミーティング（進級を控えた6年生の不安や疑問に、7年生が膝をつき合わせて本音で答える。）
- 学園会（児童・生徒会）組織づくり
- ※ この他にも、施設一体型小中一貫校の特色を生かす取組を随時検討、実行していく。

(4) 保護者・地域が交流する取組

- 校内環境整備作業
- 子どもフェスティバル
- 左義長
- 保護者のための進路セミナー

(5) 「いしずえ学習」「宇治学」の取組

「宇治学」きずな科…異年齢集団興味・関心課題探求活動

- ◎ 第7学年～第5学年のグループで課題探求活動に取り組む
- 第7学年をリーダーとする異年齢グループで活動する
- 興味・関心課題をグループ毎に選択-探求活動-まとめ-発表・発信する

「いしずえ学習」

宇治小学校

- 朝学習（毎日始業前10分間の「いしずえタイム」）全児童対象（読書を含む国語と算数の基礎的基本的な学習）学級単位で原則担任が指導する
- 「ぐんぐんタイム」の設定（3～6年生）
（クラブ・委員会のない金曜日5校時に行う）
- 算数の授業開始時に3分間の計算タイムを入れる（学年で単元の学習計画との兼ね合いで実施を検討）

黄檗中学校

- 朝学活の中の「いしずえタイム」で、読書などの活動を行う
- ふりスタ（夏季休業中に、抽出・希望生徒対象、学年、学生ボランティア等全校体制で行う）
- 定期テスト前の放課後の個別支援学習（学年教師、学生ボランティアで）

(6) 保護者・地域向け啓発計画

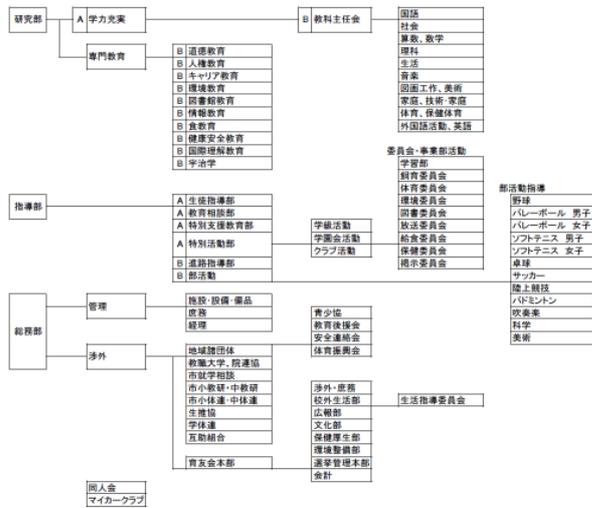
- 実践報告会を実施
- 様々な行事で、小中交流する機会をつくり、その意義と成果を示す。
- HPや広報誌で、具体的な取組内容を紹介する。

(7) その他（地域の実態に即した中学校ブロック独自の取組内容等）

- 9年間を通じた自己実現力の育成
- ステージに応じた学習方法の改善
- 英語教育の早期化・高度化へ向けての研修

5 平成26年度小中一貫教育を推進する組織図

平成26年度校務分掌 宇治黄葉学園(宇治市立宇治小学校・黄葉中学校) 2014/4/17



平成26年度 諸会議・委員会、主幹・主事・主任・委員、部活動担当

諸会議・委員会	小学校										中学校			
	学年外	わかさ	1年	2年	3年	4年	5年	6年	学年外	きほだ	7年	8年	9年	
職員会議	全教職員													
企画委員会	校長・教頭	主任	主任	主任	主任	主任	主任	主任	校長・教頭	主任	主任	主任	主任	
学年主任会	校長・教頭	前期					中後期			校長・教頭	中後期			
学校安全委員会	教頭、主幹、指導、教務、養護、育友会													
特別支援教育校内委員会	教頭、コーディネーター、生徒、教務、通級、特支部長、特支担、養教													
学校保健会	教頭、保健主事、養教、栄養、給食、育友会、3校医													
給食運営委員会	教頭、主幹、指導、教務、養護、育友会													
いじめ対策委員会	管理課、主幹、生徒、教務、学年主任、教務													
安全衛生委員会	管理課、教職員各世代代表(. . .)													
学園体育大会実行委員会									養教・主事	養護	給食	山根・西野	山根・西野	
学園文化祭実行委員会									養教・主事	高岡	一針・青柳	山根・西野	山根・西野	
英語教育推進委員会	教務、研究部長、英語科教員													

主幹・主事・主任・委員

主幹・主事・主任・委員	担当	担当	担当
主幹教務	島田	学力向上推進担当 久島	市就学指導委員 横江、山上、前井、森谷
生徒指導主事	堂本	少年教育推進担当 山根	市小・中体連理事 炭本・齋藤
保健主事	山本・吉田	遠隔教育推進担当 西野	市小・中体連理事 炭本・齋藤
給食指導主事	中野	特別支援コーディネーター 横江・高岡・森谷・西野	市小・中体連理事 炭本・齋藤
学校安全管理主任	山本・齋藤	特別支援コーディネーター 横江・高岡・森谷・西野	市小・中体連理事 炭本・齋藤

小教研・中教研 学校代表

小学校				中学校			
教科	代表	代表	代表	教科	代表	代表	代表
国語	島田	横江	道徳 吉野 山上	国語	福西	学校代表 齋藤	福西
社会	森	堀	特別活動 折野 中野	社会	清井	道徳 三上	清井
算数	岡本	高見	生徒指導 山根	数学	山根	特別活動 山根	山根
理科	久島	谷川	健康増進 森谷	理科	佐利	生徒指導 堂本	佐利
生活	保野	塩谷	健康安全 平野 高本	音楽	一針	遠隔指導 中野	一針
音楽	西川	八木	情報教育 井上 山本	美術	高岡	課外活動 森川	高岡
図画工作	田村	越村	特別活動 炭本 越本	保健男子	藤田	健康教育 中川	藤田
家庭	松尾			保健女子	吉岡	安全教育 飯井	吉岡
体育	西野	真北川 前之 知東(小研)		技術	齋藤	情報教育 由利	齋藤
部活動	池本	浮(中研)		家庭	山根	山根	山根
				英語	堂本	中野	福西

部活動指導担当

部活動	指導	指導	指導	指導
野球	藤田	齋藤	酒井	西野
バレーボール 男子	西結	山根		
バレーボール 女子	重野	前井 (石野)		
ソフトテニス 男子	齋藤	由利		
ソフトテニス 女子	中野	三上		
卓球	中野	福西	森谷	
サッカー	井上	堂本		
陸上競技	坂井	吉岡		
バドミントン	田立	西村		
吹奏楽	一針	森川	西川	
科学	森川	山本		
美術	高岡			